

官報

號外

明治三十年三月四日

木曜日 內閣官報局

第十回衆議院議事速記録第十七號

○帝國議會

明治三十年三月三日(水曜日)午後一時二十三分開議
議事日程 第十七號 明治三十年三月三日
午後一時開議

第一 作業會計法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員報告)

第二 貨幣法案(政府提出) 第一讀會

第三 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會

第四 貨幣整理資金特別會計法案(政府提出) 第一讀會

第五 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會

第六 明治十七年第十八號布告兌換銀行券條例中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第七 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會

第八 明治十八年第十四號布告中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第九 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會

第十 明治十二年第三十五號布告廢止法律案(政府提出) 第一讀會

第十一 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會

第十二 府縣制改正法律案(工藤行幹君 第一讀會ノ續(特別委員報告) 外七名提出)

○議長(鳩山和夫君) 是ヨリ報告ヲ爲シマス
(田中書記官朗讀)
政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ
明治三十年度歲入歳出總豫算追加案(總追第三號)
明治三十年度特別會計歳入歳出豫算追加案(特追第三號)
豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲナスヲ要スル件(二通)
政府委員左ノ通仰付ケラレタル旨松方内閣總理大臣ヨリ通牒アリ
大藏省所管事務政府委員 造幣局長 長谷川爲治君
議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ
明治二十八年法律第四號中改正法律案
提出者 重岡薰五郎君 河原林義雄君
武市彰一郎君 稻葉市郎右衛門君
今西幹一郎君 石原半右衛門君
提出者 福田久 松君

肥料取締法案
提出者 福田久 松君

提出者 福田久 松君

小室重弘君鈴木充美君ヨリ紀綱紊亂ニ關スル件ニ附キ質問書ヲ提出セラレタリ

特別委員長及理事左ノ通常選セラレタリ
明治二十八年豫備金支出ノ件外三件委員長
同理事 毛利 莫君
同理事 高田 早苗君
同理事 佐藤 昌藏君
保稅倉庫法案委員長 加賀美嘉兵衛君
同理事 厚地 敏君
同理事 佐々木 政次君
明治二十七年法律第二十三號改正法律案委員長 下飯坂權三郎君
同理事 小松 三三君
議院法中改正法律案委員長 (左ノ質問書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)

紀綱紊亂ニ關スル質問書
右成規ニ據リ提出候也
明治三十年三月三日

提出者 小室 重弘
鈴木 充美
贊成者 片岡 健吉
外二十九名

紀綱紊亂ニ關スル質問主意書
昨年現内閣ノ起ルヤ國民ノ希望ニ副フ可キ幾多ノ政綱ヲ列擧シテ之ヲ天下ニ公示セリ立憲的動作ヲ爲シ財政ヲ整理シ官紀ヲ振肅スルカ如キハ特ニ其重要ナル者ニ屬ス
然ルニ退テ之ヲ近日ノ事實ニ徴スルニ現内閣ノ爲ス所本員等ノ疑惑ニ堪ヘサル者一ニシテ足ラス天下皆曰ク現内閣ハ其與黨ノ勢力ヲ張ルニ急ナルカ爲メ或ハ黃白ヲ撒シ或ハ官職ヲ私約シ以テ議員ヲ誘致セリ曰ク現内閣ハ土地山林銀行鐵道若クハ官業ノ工事受負等ヲ以テ其與黨ヲ籠蓋スルノ具ニ供セリ曰ク現内閣ハ富豪ニ結托シ商估ヲ願使シ商機ヲ攫亂シ以テ市利ヲ壟斷セリト
凡ツ此ノ如キ怪聞空出百端枚擧ニ暇アラス天下萬衆之カ爲メニ瞠目セサルハナシ是等ノ事若シモ眞實ナリトセハ紀綱ノ紊亂政道ノ壞敗之ヨリ甚シキハナキナリ立憲的動作ヲ爲シ官紀ヲ振肅ス可シト公言シタル現内閣ニシテ果シテ之ヲ爲スト謂フ乎
内閣大臣ハ宜シク親シク議院ニ出席シテ本員等ノ疑惑ヲ解クニ足ル可キ詳明ナル答辯アラントコトヲ望ム
右及質問候也

○議長(鳩山和夫君) 是ヨリ開會致シマス、諸君ニ御諮リ申スコトゴザイマス、藤田吉亨君ガ、病氣ノタメニ二十二日マデ十日間ノ請假ヲ申出デラレマ

衆議院議事速記録第十七號 明治三十年三月三日 議長ノ報告

シタガ、許可シテ宜シウゴザイマスカ

○議長(鳩山和夫君) サウシテ尙ホ同君ガ、明治二十七年法律第二十二號改

正法律案ノ委員ニナツテ居ラレマスガ、其委員ノ辭任ヲ申出デラレマシタガ、
開届ケテ宜シウゴザイマスカ

○議長(鳩山和夫君) 其補缺ハ議長ニ於テ指名シテ宜シウゴザイマスカ

○議長(鳩山和夫君) 然ラバ直チニ指名ヲシマス

○議長(鳩山和夫君) 然ラバ直チニ指名ヲシマス 福田久松君

○議長(鳩山和夫君) 何ノ委員會デスカ

○議長(鳩山和夫君) 百二十九番 請願委員會ノ……

○議長(鳩山和夫君) 宜シウゴザイマス

○議長(鳩山和夫君) 宜シウゴザイマス

○南島間作君(百二十九番) 私ハ、委員長ニ代ッテ請願委員會ノ經過ヲ御報

道致シマス、請願委員會ニ於キマシテハ、昨日マテ受附致シマシタ所ノ請願

ノ件數ハ、五百十六件デアリマシテ、前回御報告後委員會ヲ開キマシタ度數

ハ、二回デアリマシテ、即チ二月二十四日、同ク二十七日ニ開キマシテ度數

イマス、會議ニ付シタ所ノ件數ハ、三百四十二件デアリマシテ、此中可決致

シマシタ所ノモノハ、即チ御手許へ報告シテアリマス所ノ番號ニ依リマシ

テ申上ゲマスル、第八號、第十五號、第十六號、第三十九號、第四十五號、第六

十一號、第六十二號、第六十四號、第六十五號、第六十八號、第七十二號、第七

三號、第七十五號、第七十六號、第七十七號、第七十八號、第七十九號、第八十

號、第八十二號、第八十六號、第八十七號、第八十四號、第九十五號、第九十

號、第九十一號、第九十二號、第九十三號、第九十四號、第九十五號、第九十六

號、第九十七號、第九十八號、第九十九號、第一百號、第一百零一號、第一百

零二號、第一百零三號、第一百零四號、第一百零五號、第一百零六號、第一百

零七號、第一百零八號、第一百零九號、第一百一十號、第一百一十一號、第

百一十二號、第一百一十三號、第一百一十四號、第一百一十五號、第一百一

十六號、第一百一十七號、第一百一十八號、第一百一十九號、第一百二十

零號、第一百二十一號、第一百二十二號、第一百二十三號、第一百二十四

號、第一百二十五號、第一百二十六號、第一百二十七號、第一百二十八

號、第一百二十九號、第一百三十號、第一百三十一號、第一百三十二號、第

百三十三號、第一百三十四號、第一百三十五號、第一百三十六號、第一百三

十七號、第一百三十八號、第一百三十九號、第一百四十號、第一百四十一

號、第一百四十二號、第一百四十三號、第一百四十四號、第一百四十五

號、第一百四十六號、第一百四十七號、第一百四十八號、第一百四十九

號、第一百五十號、第一百五十一號、第一百五十二號、第一百五十三

號、第一百五十四號、第一百五十五號、第一百五十六號、第一百五十七

號、第一百五十八號、第一百五十九號、第一百六十號、第一百六十一

號、第一百六十二號、第一百六十三號、第一百六十四號、第一百六十五

號、第一百六十六號、第一百六十七號、第一百六十八號、第一百六十九

號、第一百七十號、第一百七十一號、第一百七十二號、第一百七十三

號、第一百七十四號、第一百七十五號、第一百七十六號、第一百七十七

號、第一百七十八號、第一百七十九號、第一百八十號、第一百八十一

號、第一百八十二號、第一百八十三號、第一百八十四號、第一百八十五

號、第一百八十六號、第一百八十七號、第一百八十八號、第一百八十九

號、第一百九十號、第一百九十一號、第一百九十二號、第一百九十三

號、第九十上八號、同ク第四百一十一號、第四百十六號、是ハ本朝醫道繼續ニ關ス
ル請願デアリマス、第九百八十七號、是ハ内國人民履歷書ヲ携帶ノ件ニ關スル
請願デアリマス、第九百八十五號、是ハ墓地ニ課稅ヲスル、地租ヲ取ルト云フ
請願デアリマス、第九百八十六號、是ハ對馬國運輸交通ニ關スル請願デアリ
マス、第九百三號、刑法及民法改正ノ件、第九百八號戶籍ニ關スル登録稅法
廢止ノ件、第九百三十一號登錄稅法外二法廢止及改正ノ件、以上三十二件ハ
院議ニ付スベカラザルモノトシテ否決ヲ致シマシテゴザリマス、此段報道ヲ
致シマス

○小室重弘君(二百九十九番) 私ハ今日政府ニ向ッテ一ツノ質問書ヲ提シタ

譯デアリマス、ウレハ紀綱紊亂ニ關スル質問書ト題シテアリマス、想フニ此

沈々寂々タル議會ニ於テ、最早此第十議會ノ期限モ殘ス所幾何モゴザリマセ

ヤ、此議會ハ殆ド將ニ閉會ニナラントスルヨリカ、將ニ立消ニナラントスル

ヤウナ有様デアアル、油ノ盡キタル燈ノ如ク、水ヲ加ヘザル植木鉢、如ク、萎ビ

テシマフデアラウト私ハ思フ、斯ウ云フ場合ニ於テ、私ハ此一種ノ質問書ヲ

提シ、大イニ政府ニ向ッテ問ハナケレバナラヌコトゴザリマス、是ハ諸君、尋

常ノ當リ前ノ質問書トハ大イニ其趣ヲ異ニシテ居ル譯デアリマス、今日

ノ私ノ質問ニ就イテ政府ノ答辯次第ハ、吾トハ更ニ他ノ議論ヲ以テ之ニ對

サナケレバナラナイ場合ガ或ハアルデゴザリマセト思ヒマス、今日ノ此議

會ノ有様、今日ノ政治社會ノ有様ニ就イテ憤慨ニ堪ヘマセヌコトモ澤山

ゴザリマスガ(笑聲起ル)質問書デアリマス、語ヲ誤リマシタ、一ツレレハ此質問書ヲ提出ス

ルノ已ムヲ得ザル譯デアリマス、語ヲ誤リマシタ、一ツレレハ此質問書ヲ提出ス

ニ就イテハ、成ルベクハ當局大臣ノ出席ノ日ヲ私ハ選ンダ譯デアアル、幸ヒ、今

日ハ松方總理大臣以下此議會ニ出席セラレテ居ル譯デアリマス、殊ニ今

日ノ重大問題ナル貨幣法案ノ事ニ就イテ、松方總理大臣ガ出テ居ラレル、私ハ

松方總理大臣ノ面前ニ於テ、此紀綱紊亂ニ關スル質問書ヲ爲スヲ以テ今日ノ光

榮トスル者デアリマス、諸君、願クバ暫クノ間御清聴ヲ蒙リタイト思ヒマ

ス、私ガ提出ヲ致シマシタ質問ノ趣意書ヲ、極ク短イモノデゴザリマスカラ、

一應朗讀シマセウ

主意書

昨年現内閣ノ起ルヤ國民ノ希望ニ副フ可キ幾多ノ政綱ヲ列擧シテ之ヲ天下

ニ公示セリ立憲的動作ヲ爲シ財政ヲ整理シ官紀ヲ振肅スルカ如キハ其主要

ナル者ニ屬ス

然ルニ退テ現内閣ノ爲ス所ヲ見ルニ本員等ノ疑惑ニ堪ヘサル者一ニシテ足

ラス天下皆曰ク現内閣ハ其與黨ノ勢力ヲ張ルニ急ナルカ爲メ或ハ黃白ヲ散

シテ議員ヲ買收シ或ハ官職ヲ私約シテ代議士ヲ誘致セリ曰ク現政府ハ土地

山林銀行鐵道若クハ官業ノ受負等ヲ以テ其與黨ヲ籠蓋スルノ具ニ俾セリ曰

ク現内閣ハ富豪ニ結託シ商估ヲ願使シ商權ヲ攪亂シ市利ヲ壟斷セリト

凡ツ此ノ如キ怪聞空出百端枚擧ニ暇アラヌ天下萬衆之カ爲メニ瞠目セサル

ハナシ是等ノ事若シ事實ナリトモハ紀綱ノ紊亂政道ノ壞敗之ヨリ甚キハ

ナキナリ立憲的動作ヲナシ官紀ヲ振肅スヘシト公言スル所ノ政府ニシテ之

ヲ爲スト云フ乎

内閣大臣ハ宜シク議院ニ出席シテ詳明ナル答辯アラシムコトヲ望ム
斯ウ云フノガ私が提出致シマシタ質問ノ要領ゴザイマスル、是ヨリ此質問
ヲ吾、ガ提出シタ趣意ヲ聊述ベヤウト考ヘマス、諸君、松方内閣ハ今度デ二
度目、再ビ此政府ヲ組織シタ譯デゴザリマスケレドモ、此内閣ハ我國ノ立憲
政體ヲ完備ニスルガためニ來タモノデアルカ、或ハ我國ノ立憲政體ヲ破壊
スルガためニ來タモノデアルカ、諸君、諸君ノ中ニ或ハ吾、ノ此質問ニ對
シテ冷笑ヲ以テ待ツモノガアルデアラウ、吾、ノ此質問ニ對シテ、諸君ハ或
ル感情ヲ以テ迎ヘルデゴザリマセウガ、私共ハ此議院ヲ以テ天下ノ正義ヲ代
表スヘキ府ナリト信ズル、諸君、諸君ハ暫ク吾、ノ衷情ノアル所ヲ聽カレ
シコトヲ希望ニスル譯デアリマスル、若シモ松方内閣ニシテ、果シテ我國ノ政
治ヲ完備ニスルガためニ來リタリトスルナラバ、私共ハ第一ニ言ハナケレバ
ナラヌコトガアル、諸君、去ル明治二十五年ノ當時ヲ吾、ガ首ヲ回ラシテ見
マシタナラバ、何事ヲ爲シタカ、此松方君ガ前内閣ノ前ノ内閣ノ總理大臣デア
タ時分ニ何事ヲ爲シタカ、ソレハ所謂選舉干渉ト云ヘル我國ニ於テ最モ憲法
ノ上ニ於テ汚辱ヲ與ヘタ所ノ、我國ノ立憲政體ヲ破壊シ、人民ノ自由ヲ破壞
シ、選舉ノ自由ヲ破壞シタ所ノ大罪惡ヲ行ハタノデゴザイマスル、今日恬
タル其面目ヲ以テ、此議院ニ出席シタノハ實ニ面ノ皮ノ厚キモノト云ハザル
ヲ得ズ、諸君、其當時如何ナルコトヲ爲シタカ、或ハ行政官ニ向ッテ、或ハ
警察官ヲ利用シテ、而シテ白刃ト彈丸ト、甚シキニ至ッテハ人ヲ殺シ、家ヲ
燒キ以テ、選舉ヲ蹂躪シタト云フコトハ、諸君ノ能ク知ラル、所デゴザイマ
ス、私共選舉干渉ノ當時ニ於テ、親ク其暴逆ヲ被ツタモノデアラツテ、今日ニ
至ルモ尙ホ遺恨骨髓ニ徹シテ止マナイモノデゴザイマスルガ(笑聲起ル)思
フニ舊改進黨員ノ諸君、其當時民黨ト稱セラレタ所ノ諸君モ、即チ當時ノ松
方内閣ニ向ッテ攻撃シタ諸君ガ、能ク此事ハ記憶サレテ居ラウデアラウト存ジ
マスル、併ナガラ當時ハ國民ノ制裁ガ尙ホ嚴明デアラツテ、政治上ノ道德ノ制
裁ト云フニ就イテハ、社會ノ制裁ガ之ヲ許サヌノ、松方大臣如何ニ厚顔ナリ
ト雖モ、如何ニ鐵面皮ナリト雖モ、永ク此内閣ヲ維持スルコトガ出來ズシテ、
遂ニ自ラ其位地ヲ退クニ至ツタト云フコトハ明ナ譯デゴザリマス、然ラバ今
度此現内閣デアアル所ノ松方内閣ハドウデアアル、若シモ當時非立憲的舉動ヲ爲
シテ、社會正義ノ制裁ノ上カラ彈劾サレタ内閣デゴザイマシタナラバ、セメテ
ハ諸君、平タク申シテ見マス、罪障消滅ノためニモ責メテハ非立憲的
ノ舉動ヲ止メテ、善政ヲ施シテ——善政ヲ施シテ此世ノ中ニ臨ミマシタナ
ラバ、私共或ハ此内閣ヲ助ケタカモ知レヌ、松方君、實ニ立憲的舉動ヲ爲シ
テ此善政ヲ施スト云フコトデゴザリマシタナラバ、私共喜ンデ其提灯ヲ持ツ
ウト思ヒマス、其與黨トナラウト思ヒマス——其與黨ニ加ハルコトヲ耻トシ
ナイ譯デアリマスノデ、然ルニ諸君、現内閣ガ此第十議會ニ對シテ、或ハ今
日ノ世ノ中ニ對シテ爲ス所ヲ私共が見マシタナラバ、ドウデゴザリマセウカ、
選舉干渉ト云フ亂暴ヲ以テ、憲法ヲ蹂躪シタト云フコトハ、亂暴ハ即チ亂暴
デアリマスル、併ナガラ腕力ヲ以テ此壓制ヲスル行政權、警察權等ヲ妄用シ
テ、人ヲ殺シ家ヲ燒キ血ヲ流スト云フヤウナコトハ、殆ド一時ノ——此暫時
ニシテ或ハ消滅スルデゴザリマセウケレドモ、今日ニ於ケル實力ハ何ゾヤ、

今日現内閣ガ行ヒツ、アル、政治上ノ利器トシテ行ヒツ、アルモノハ何ゾヤ
ト言フタナラバ、私ハ之ヲ稱シテ金力的ノ暴虐、金錢ヲ以テ賣買スル所ノ
暴虐デアアルト斷言スルニ憚ラヌノデゴザイマスル、諸君、金力ヲ以テ——黃
白ヲ以テ惡政ヲ爲スニ至ッテハ、其害毒ハ政治社會ノ骨ニ入り、政治社會ノ
肺腑ヲ腐ラシ、而シテ此社會ノ道德ヲ滅却シテ、立憲政體ノ上ニ大イナル汚
辱ヲ加ヘルモノト言ハナケレバナラヌノデアアル、試ニ見ヨ、人ヲ殺スニ最モ
殘酷ナルモノハ如何ナル方法デアアルカト言フタナラバ、白刃ヲ閃カシテ頭
上ヨリ兩斷スルト云フコトハ、殘酷ハ即チ殘酷デアアル、併ナガラ之ヨリモ更
ニ殘酷ナル事柄ハ、如何ニアルカト云ヘバ、色ノ奇麗ナル濃キコト油ノ如キ
毒ノ酒ヲ以テ人ニ飲マシテ、之ヲ以テ其人ヲ醉ハシテ、而シテ亂醉靡爛ノ中
ニ此人ヲ倒スト云フコトハ、人ヲ殺スノ最モ殘酷ナルモノト私ハ思フ、選舉
干渉ハソレ猶ホ白刃ヲ以テ人ヲ殺スガ如キカ、而シテ金力ヲ以テ——黃金ヲ
以テ政治社會ヲ腐敗サセルニ至ッテハ、殆ド毒ノ酒ヲ注イテ人ヲ醉ハセテ、而
シテ之ヲ殺スト云フニ能ク似テ居ルト、私ハ考ヘルノデゴザリマス、(ヒヤ
ノ)ト呼フ者アリ)諸君、現時ノ政治社會ニ於テ、立憲政體ノ前途ニ於テ
何事ガアルカ、松方内閣ノ爲ス所、抑立憲的行動ヲ爲シテ、眞直ニ此憲政
ヲ善美ニスルガためニ進ミツ、アルカ、將タ非立憲的舉動ヲ爲シテ、而シテ
我國ノ憲法政治ノ前途ヲ破壞スルモノデアアルカト云フコトニ就イテハ、決シ
テ多クノ斷案ヲ用フルニ及バヌ、ソレハ社會萬衆ガ之ヲ認メテ居ルデゴザリ
マセウ、現今日此世ニ稱シテ、御用新聞記者ト云フモノデアラフ、松方内
閣ノ非立憲的政治、黃金ノ力ヲ以テ——黃白ノ力ヲ以テ、金力的政治ノ權力
ヲ以テ、世ノ中ヲ腐敗セシメツ、アルト云フコトハ、何人モ之ニ對シテ侮
辱スルコトハ出來ヌ、此非ヲ蔽フコトガ出來ヌ、若シモ天ヲ仰イダナラバ、天
ニ向ッテ此事ガ書キ附ケサレテアルダラウ、若シモ地ニ認メタナラバ、此事ガ
地ニ記録シテアルデアラウ、諸君、如何ニ詭辯ナリ、如何ニ是非ト爲シ、
非ヲ是ト爲スモ、鷲ヲ鳥ト辯明スルコトガ出來マセウカ、既ニ此事ニ就イテ
ハ、私ハ欺クベカラザル國民ノ輿論ガアルト信ジテ居マス、國民ノ斷案ガ
アルト信ジテ居ルデゴザリマス、然ルニドウデゴザリマセウ、諸君、第十議
會ガ開ケテ以來、既ニ三分ノ二以上ハ時限ヲ經過シタ今日ニ於テ、社會萬衆
ガ認メテ居ル、社會萬衆ガ疑惑ヲ抱イテ居ル此事ニ就イテ、如何ナルモノデ
アルカト云フコトヲ疑フテ居ル大問題、松方内閣ノソレニ對スル非立憲的
問題、國家ノ紀綱ヲ紊亂サシタト云フ事ノ大問題ニ就イテ、誰ガ一言此事ヲ
議會デ言フタモノガアルカ、誰ガ片言隻句モ此事ヲ内閣大臣ニ問フタカ、竊
ニ恐ル、重弘不肖デゴザイマス、誰カ片言隻句モ此事ヲ内閣大臣ニ問フタカ、竊
現象ヲ見テ、此事ノ一言ヲ内閣ニ向ッテ問フ者ナキト云フコトハ、私共誠ニ
慨嘆ニ堪ヘヌノデ、自ラ此立法部ノ間ニ於テ、此事ヲ問ハザルト云フノハ
自ラ耻ヅルノデゴザリマスル、諸君、曾テ菊池武光ヲ咏シタモノヲ見給ヘ、
勤王ノ諸將前後ニ沒ス、吾、ハ殆ド勤王ノ諸將前後ニ沒スル如キ今日ノ現象
デゴザイマス、或ハ如何トモ是等ノコトニ就イテハ云フコトガ出來ヌカ
知ラヌガ、併ナガラ尙ホ吉野ノ山奥ニ、菊水ノ旗ガ翻ツテ居ルモノトシタナ
ラバ、一言之ニ向ッテ問ハザルヲ得ヌ譯デアリマスル、諸君、今日黃白
ヲ散シテ——金錢ヲ以テ政治社會ヲ腐敗サセテ、サウシテ明治三十年ノ此第
十議會ニ、斯ノ如キ有様デ、毎日爲スコトハ何事デアアル、ドシノ政府案ガ

通過シテ往クノデ、大臣ガ出テ演說デモスレバ、其大臣ノ演說ニ對シテ提灯
 持ヲスルト云フ人間ガ多數デアルト云フ、此有様ニ就イテハドウデアリマセ
 ウ、明治二十二年ハ憲法ガ始テ此日本ノ國ニ、天皇陛下ノ恩惠ニ依ッテ發布
 サレタトキニハ、人々ガ喜舞歡呼シテ之ヲ祝シタノハ何故デアルカ、第十
 議會ガ開ケル今日ニ至リテ、斯ノ如キ現象ガ茲ニ現レルト云フコトヲ、當時ノ
 國民ハ祝シタデゴザイマシタラウカ、實ニ此憲法ノ前途、望アルコト春
 ダデアッタデアラウカ、吾々ハ信ズカ、實ニ此憲法ノ前途、望アルコト春
 海ノ如クデアラウカ、故ニ之ヲ祝シタノデアラウカ、實ニ此憲法ノ前途、望
 會ノ有様ヲ見レバ、斯ウ云フ現象ニ陷ッタノハ、吾々ノ誠ニ慨嘆ニ堪ヘナイ
 コトデゴザイマスガ、今日ノ内閣ヲ天下ノヲ稱シテ何ト云フ、諸君、商估内
 閣、商估内閣ト云フハ何ノ人ガ命ジタカハ知ラナイガ、商估内閣ト云フ名前
 ヲ松方内閣ニ加ヘタノハ何ノ人カ知ラヌ、併ナガラ天言ハズ、天ハ此社會一般
 ノ人心ノ上ニ反響トシテ是等ノ名目ヲ以テ加ヘタノデアラウカ、此名目ヲ加
 タノハ金力政治デアアル、黄金ノ力ヲ以テ自分等ノ地位ヲ維持シ、財源財產ノ
 權力ヲ以テ自分等ノ政策ヲ行ヒ、而シテ天下ヲ舉ゲテ此黄金ノ濁ノ中ニ葬
 リ、日本ノ立憲政體ヲ舉ゲテ黄白ノ濁ノ中ニ葬ルト云フヤウナ、サウ意味カ
 ラ商估内閣ト云フタノデアラウ、若シモ松方内閣ニシテ、經綸アリ、抱負アリ
 リ、自分等ノ政策ヲ斷乎トシテ行フノデアラウ、議會ノ過半數ノ者ガ松方内
 閣ノ政策經綸ニ反對スルデアラウ、斷乎トシテ此議會ヲ解散シ
 テ、サウシテ自分等ノ信ズル所ノ政策ヲ行ヒ、經綸ヲ斷行シテ男ヲシテヤル
 ガ宜シ、然ルニ此議會ヲ解散スル勇氣ナク、却テ閣内閣ニ、隱密ノ間ニ、
 金權ノ政略ヲ用ヒ、萬事ヲ爲サントスルニ至ッテハ、天下萬衆ハ之ガタメニ慟
 哭セザルヲ得ヌ、諸君、尙ホ進ンデ吾々ヲシテ論ゼシメヨ、何ト云フ、天下萬
 衆ハ今日ノ松方内閣ヲ如何ニ觀察シテ居ラウカ、初メ松方君等カ此富
 ノ勢、日本ノ富ノ勢力ト云フモノヲ自分等ノ味方ニ附ケテ、之ヲ以テ政權ヲ
 壟斷スルニ足リ、之ヲ以テ永ク自分等ノ位置ヲ維持スルニ足ルト思フタコ
 トハ、社會ノ認ムルコトガゴザイマセウ、彼ノ三井ノ如キ、岩崎家ノ如キ、
 斯ウ云フ日本ノろぢぢやい、深ク結託シタト云フ如キ
 コトハ何故デアルカ、三井ヤ其外ノ商人、彼處ニ居ラレル松本重太郎君、サ
 ウ云フ人々ニ向ッテ結託シタト云フコトハ、何故デアルカ、吾々ハ謂レアル
 斯ウ云フ商人、即チ大臣ノ鼻息ヲ窺ヒ、テ私利ヲ營ム、如キ御用商人等ト相結託
 シテ、種々ナル今日ノ前途ノ伏線ヲ張ッテ居タト云フコトハ、或ハ斷案ノ誤
 デアルカモ知レヌガ、天下ハ認メテサウ言フテ居ルデアラウ、諸君、
 昔聞ク、戰國ノ時ニ方ッテハ、戰國ノ大名ハ一番兵力ノ強イ、一番國ノ大キ
 イ大名ノ處ヘ自分等ノ娘ヲ嫁ニ遣リ、向フカハラハ自分ノ娘ニ養子ヲ貰ヒ、斯
 ノ如クシテ人間ヲ質ニシテ、此人間ノ人質ノ力ニ依ッテ種々ノ政略ヲ行ッ
 テ、若シモ富豪ト先ツ政治上ノ關係ヲ開ク前ニ、先以テ嫁ニ遣ル婚ニ取ルト
 云フヤウニ姻戚的ノ、一ノ血族的ノ結婚ヲ以テ、斯ウ云フモノヲ拵ッテ、其
 金持ヲ人質トシテ天下ヲ左右スル者ガアッタナラバ、何ト云フデアラウマセ
 ウカ、吾々ハ斯ウ云フコトハ、私ノ質問ニ書イテゴザイマスル所ノ「黄白ヲ
 散シ議員ヲ買収シ官職ヲ私約シ云々」ト云フコトヲ確ニシ居ルモノデナカラ
 ト云フ所ノ政治ノ其先キハ如何ニ來テ居ルカ、私共此ニ至ッテ言フニ忍ビマ

セヌケレドモ、併ナガラ一滴ノ血涙ハ、國民ノ清キ議論ヲ代表スルタメニ、
 吾々ハ忍デ言ハザルヲ得ヌ、諸君、議員買収ノ四字、議員ヲ買ツタト云フ四
 字、此議員買収ノ一語ト云フモノハ、如何ニ大ナル、大イナル文字ヲ以テ此
 日本ノ政治社會ノ上ニ書附ケラレテアルデアラウマセウカ、欺クベカラザル
 社會ノ制裁認知ハ、社會萬衆ガ認メテ以テ議員買収、議員買収ノ聲ハ、諸君
 等ハ或ハ耳ガ聾デアラナラバ聞カヌカモ知レヌケレドモ、苟モ二ツノ耳ノ
 アッタ者ハ、議員買収ノ聲ヲ聞カザル者ハ、四千万人中一人モナカラウト思
 ヒマス、議員買収ノ事ニ就イテ、一々證據ヲ舉ゲテ此事ヲ論斷スルコトハ致
 シマス、如何ニモ論斷セヨト云フ、吾々ハ論斷セザルニアラズ、然レ
 ドモ諸君、證據ヲ舉ゲテ實物ヲ持ッテ來テ、之ヲ以テ争フト云フヤウナコト
 ハ、三百代言ノ爲ス所ノコトデアラウト考ヘル、立憲政體ノ公ナル舞臺ニ於
 テ德義、政治上ノ德義ヲ以テ、内閣大臣ニ此事ヲ問フニ於テ、區々タル證據
 ヲ舉ゲテ、吾々ガ之ヲ争フニ證據呼ハリヨスルト云フヤウナ、三百代言的ノ
 仕事ハ吾々ガ好マナイ所デアラウマセウケレドモ、諸君、昨年ノ冬ヨリ茲歲ノ
 春ニ掛ケテ、甚キニ至ッテハ、英照皇太后崩御ニナリ、此議會ノ休會ノ間、
 日本ノ帝室ニ大喪ガアルト云フ間ニ當ッテモ、尙ホ奇怪ナル運動ヲ爲シ、閣
 黒ノ裡ニ、暗イ處デ、國民ノ眼ノ多ク達セザル間ニ於テ、種々ナル運動ヲ爲
 シタト云フコトハ、私共認メテ居ル、諸君ハ何トカ思フカ知ラヌガ、吾々
 ハ確ニ認メテ居ル、御覽ナサレヨ、彼ノ樺山伯ノ姻戚デアルト云フ赤星某ノ如
 キハ何事ヲ爲シタ者デアルカ、其當時内務ノ大久保書記官等ガ何事ヲ爲シタ
 デアッタデアラウカ、諸君、此事件ニ於テハ、吾々ハ一々其實ヲ舉ゲ申
 シマセヌケレドモ、御覽ナサレヨ、新橋ノ南北、烏森ノ魔窟、金春ノ待合、
 斯ウ云フ中ニハ何物ガ相往來シテ、新橋ノ南北、烏森ノ魔窟、金春ノ待合、
 言フニ忍ビナイ譯デアラウマセウ、若シモ牛馬豚犬ノ如クニ、國民ノ代議士ガ
 黄白ニ依ッテ動クト云フコトガ、萬一事實デアラウマセウ、天下國民ハ何ニ
 ハ何ニ依ッテ自分ノ意見ヲ代表シテ貫ハウトスルデアラウカ、天下國民ハ何ニ
 依ッテ此社會ノ輿論ヲ代表シテ貫ハウトスルデアラウカ、吾々ハ代議士ヲ
 責ムルト云フコトハ致シテ、男自ラデアルト云フガ事實デアアル、斯ノ如キ
 シムルハ女自ラニアラズシテ、男自ラデアルト云フガ事實デアアル、斯ノ如キ
 事ヲ爲サシメタ内閣其モノハ、松方君其者ハ之ニ對シテ宜シク明ニシナケ
 レバナラヌ責任ガナケレバナラナイ譯デアラウマセウ、而シテ議會ノ權能ヲ賣リ、
 朋友ヲ賣リ、黨派ヲ賣リ、自分ノ良心ヲ賣リ、而シテ議會ノ權能ヲ賣リ、此
 立憲政治ノ前途ニ立ツモノガゴザイマス、之ヲ推擴メテ往ッタナラバ、
 パ、諸君、ドウデアラウマセウカ、及至ハ第十議會デモ過ギテ見ナケレバ分ラヌ
 タメニ國ヲ賣リ、金ヲ以テ國ヲ賣ルト云フ、始メ支那人ガくくるベコトヲ導
 イテ五圓賣ツタト云フ劣等ノ兵卒ノヤウナコトガ、情況ガナイト云フコトヲ
 期セラル、デゴザイマセウカ、及至ハ第十議會デモ過ギテ見ナケレバ分ラヌ
 ケレドモ、斯ノ如ク天下ハ云フ、或者ハ官職ヲ以テ私ニ約束サレタ、御前ハ
 内閣ヲ助ケルナラバ汝ヲシテ地方官ニ爲サウ、御前ガ内閣ヲ助ケルナラバ御
 前ヲシテ公使ニ爲サウ、御前ヲシテ局長ニ爲サウ、御前ヲシテ臺灣ノ知事ニ
 爲サウ、サウ云フヤウナコトヲ申出シテ、サウシテ此官職ヲ利用シタト云フ
 コトガゴザイマス、是ハ第十議會ノ濟シタ後ニ於テ事實ニ於テ私ハ確ニヤウ
 ト思フ、抑、官職ハ天下ノ公器デアアル、天下ノ治平ヲ托スル所以ノモノデア

ルヲ以テ、萬一斯ノ如キコトガアツタナラバ、我邦ノ立憲政體ハ如何ニスル
 ノデアリマセウカ、又勸業銀行デアルトカ、勸業銀行デアルトカ、日本銀行
 トカ、斯ウ云フ經濟ノ機關ヲ利用シテ己レノ黨與ヲ作ルニ供シタト云フコト
 ハ、何デゴザイマセウカ、經濟社會ノ危險ナルコト、爰ニ至ツテ又極マル、
 又某ノ土地、某ノ山林、某ノ鐵道、某ノ請負工事、斯ウ云フモノヲ以テ申シ
 テ見マスルト云フト、七尾ノ港ニ在ル所ノ土地ヲ某ノ代議士ガ云々致シタ、
 或ハ紀州ノ山林ト云フモノヲ、某ノ人ガ云々致シタ、斯ノ如キコトガ天下ニ
 隨分ヤカマシイデアリマスガ、斯ウ云フコトガ一々若シモ事實デゴザイマス
 レバ、宜シク吾々ハ是ニ對シテ問フ所ガナケレバナラヌ譯デゴザイマス、吾々
 ハ是等ノ事ニ就イテハ、自ラ探知シタ所ガゴザイマスケレドモ、細カニ立
 入ツテハ申サレマセヌ、併シ諸君、政治社會ノ腐敗ノ一斑ト云フモノハ、私ノ
 今マデ述ベタ所ノモノガ委シカラズトモ知り得ルコトガ出來ルと思フノデア
 リマス、世ノ中ニ此軍備ヲ擴張シテ、陸海軍ヲシテ益々膨脹セシムルト云
 フコトハ、今ノ經濟ノ一途デアリマスガ、吾々ハ軍備擴張結構デアアル、併
 ナガラ軍備擴張ハ何ヲ以テ爲ス、諸君ハ兵隊ヲ澤山作り、軍艦ヲ澤山ニ作
 テ、之ヲ以テ戰ニ勝チ、日本ガ國威ヲ輝スコトガ出來ルカ、否ナ、政府ガ類
 廢シ民衆ガ墮落シ、唯金額アルコトヲ知ツテ、廉耻アルコトヲ知ラズ、節義
 アルコトヲ知ラザル人間ヲ以テ之ヲ爲シタナラバ、器械ガ如何ニ立派デア
 テモ、軍艦ガ如何ニ立派デアツテモ、支那人ノ失敗ノちやん／＼ヲラザルコ
 トヲ得ズ、日清ノ戰争ニ於テ、我邦ハ非常ナル名譽ヲ得タ、誠ニ此日清戰争
 ノ結果ニ依ツテ、非常ナル名譽ヲ得タガ、私共ハ二十七八年ノ勝利ハ、立憲
 政體ノ適當ナル故ナルニ依ツテ、而シテ勝利ヲ得タト思ヒマスガ、此名譽ヲ
 シテ、此戰後大切ナル今日ニ於テ、日清戰争ノ名譽ヲシテ、九天ノ上ヨリ地
 獄ノ下ニ墮落セシメタノハ、抑々何人ノ罪デアルカ、吾々ハ爰ニ至ツテ概歎
 ニ堪ヘヌ譯デゴザイマス、諸君ノ前ニ今日ノ日程ニ上ボツテ居ル、貨幣問題
 ハ何デアアル、大方松方君ハ、是ヨリシカクメラシイ、是ヨリ表面的ノ立派ナル
 體裁ノ善キ議論ヲシテ、此處ニ演說セラル、デゴザイマセウケレドモ、此議論
 ノ外ニ——此表面ニ向ツテ體裁ノ宜イコトヲ言ハル、其裏面ニ何者ガ埋伏
 シテ居ルデアリマセウカ、諸君、人ニ與ヘル前ニ、吾先ツ一擧ノ肉ヲ味ヘル
 ト云フコトハ、如何ニシテ仕來ツテアツタデゴザイマセウカ、御覽ナサレ、
 私共ガ貨幣法案ヲ受取リマシタノハ一昨日ノコト、即チ三月一日デアアル、所
 ガ、大阪ノ市場ニ於テ、大阪ノ町ニ於テ、山陽鐵道トカ、九州鐵道トカ云フ
 所ノ株券ヲ買ツテ、サウシテ此市場ヲ騒ガシテ、巨万ノ一攫万金ノ策ヲ講ジ
 タト云フモノハ何人デアアルカ、私共ハ御氣ノ毒デアリマスカラ、一々其名前
 ヲ此處ニ指摘シマスマイケレドモ、商估ト結托シタ、所謂商估内閣ノ真相ト
 シテ、市場ヲ攪亂シテ、御用商人ノ人間ヲ使ツテ、サウシテ此一攫万金ノ奇
 利ヲ網シタト云フコトハ、何時デゴザイマセウ、私共立法部ノ員ニ備ツテ居
 ル者ガ、其一昨日ニ於テ貨幣問題ヲ請取ツタノニ、十數日以前ニ於テ、大阪
 ニ於テ錢儲ケノ手段ト爲ツテ、先ヅ其御初穂ハ是等ノ一派ノ者ガ引受ケタト
 云ヘバ、天下ハ之ニ對シテ如何ナル感シテ抱クデアリマセウカ、所謂實業家
 實業家ト云フモノハ何デアアルカ、吾々ハ天下ノ正義ナル誠實ナル實業家
 ヲ代表シナケレバナラヌト思フ、諸君、吾々ハ天下ノ本當ノ商人、本當ノ國
 家ノ上ニ利益アルベキ商人ヲ代表スベキモノデアアル、實業家ト世ノ中ニ唱ヘ

テ居ラル、所ノ商人ハ何者デアアル、私共ノ眼カラ見ルト御氣ノ毒デアアルガ、
 彼等ハ唯髭ノアル所ノ表面バカリふろつくこゝト著タ所ノころつきデ
 アル、高ーヤッポ被ツテ居ル所ノヌストデアルト云フコトヲ憚ラナイ、
 諸君、此者ガ世ノ中ニ横行シテ、而シテ商估ト相結托シテ、政治上ノ力
 ト商業上ノ力ト相踈ツテ、貨幣法案ノ出ル前ニ、十數日以前ニ、早クモ一攫
 万金ノ仕事ヲシタ者ガアルト云フコトデゴザイマスレバ、松方君ノ所謂官紀
 振肅ハ何處ニアル、官紀振肅ノコトハ何レノ所ニ其宣言ヲ實行セントスルモ
 ノデゴザイマセウカ、諸君、私ハ長クハ申シマセヌガ、終リニ臨ンデ一言ヲ
 シテ置カナケレバナラヌ、私ガ政府ニ向ツテ是等ノ質問ヲ呈シタ所以ノモノ
 ハ、此答辯ヲ得テ、更ニ吾々ハ一大鐵案ヲ之ニ向ツテ下サント考ヘマスル、
 政府ハ之ニ向ツテ答ヘルコトハ出來ルヤ否ヤ、ツレハ出來マセウ、或ハ漠然
 タル答、ツンナコトハ斷シテナイ、斯ウ云フコトヲ云フカモ知レナイ、捕ヘ
 テ來タ惡人ハ——犯罪人ガ裁判官ノ前デハツンナコトヲシタ覺エハアリマセ
 ヌ、知リマセヌノ一點張ヲ以テ答ラレルカ知レマセヌケレドモ、幸ニシテ此
 事ガ實ニ政府ノ答辯ニ依ツテ、實際ニ誣妄デアツテ、私共ノ聞込ダコトガ
 探知シタコトガ、皆嘘デアルト云フナラバ、誠ニ松方内閣ノタメニ之ヲ祝
 スルノミナラズ、吾々ハ我憲法政治ノ上ニ於テ祝賀スルモノデアアル、即チ濡
 衣ヲ著セラレテ居ツタト云フコトデアアルナラバ、松方内閣ハ答辯ヲ與ヘテ、
 其事ヲ明ニスルモノナラバ、私ハ松方内閣ニ大層忠義ノ者ニナルト考ヘマス、
 唯若シモ政府ノ之ニ對スル所ノ答辯ニシテ、曖昧模糊ニ失シ尙ホ自ラ立
 憲政體ヲ破ツタモノデアナイ、憲法ノ前途ニ向ツテ破壞主義ヲ執ツタモノデア
 ト云フコトヲ言ハル、デアツタナラバ、吾々ハ更ニ是ニ對シテ言フ、私ノ此
 演說ハ暗黒ナル洞底ニ向ツテ或ハ一團ノ光ヲ與ヘルカ知レヌ、或ハ濁濁
 ナル海面ニ向ツテ、一道ノ清キ潮ヲ流スト云フコトニナツタナラバ、誠ニ不
 幸デアリマス、誠ニ小室重弘ガ此演說ガ暗黒ナルコトヲ證明シ、濁濁ナルコ
 トヲ證明スルト云フコトデアリマスレバ、我立憲政體ノタメニ不幸ダト思
 フ、願クハ松方君ガ斯ノ如ク御出席ニナラレタノデ、宜ク此處ニ於テ——此
 處デモ他日デモ宜シウゴザイマス、口頭ヲ以テ御答辯アラシコトヲ希望スル
 譯デゴザイマス

○工藤行幹君(百九十七番) 私ガ小室君ニ對シテ質問ガアリマス、ドウゾ御
 答ヲ願ヒタイ、ト云フモノハ外デナイ、唯今小室君ノ喋々言ハル、所ガ、私
 ガ小室君ノ既ニ行フ所ト見レバ……ツレカラ此事ニ就イテ問フ事ガアル
 ○議長(鳩山和夫君) 工藤君ニ申シマスガ、質問ノ辯明ニ對シテハ許シマセ
 ○工藤行幹君(百九十七番) 私ハ、小室君ニ問フコトガアリマス
 ○小室重弘君(二百九十六番) 質問ニ對スル質問ノ答辯ハ致シマセヌ
 ○柏田盛文君(二百九十八番) 本員ハ緊急動議ガアリマス
 ○議長(鳩山和夫君) 工藤君ニハ、マダ發言ハ許シテアリアマセヌ、質問ノ辯
 明ニ對スル質問ハ許シマセヌ
 ○工藤行幹君(百九十七番) 小室君ノ演說ハ、議場ヲ穢シタモノト思ヒマ
 ス、ツレニ就イテ述ベヤウト思フ、之ヲ御許シナサラヌト云フコトハナイ
 ○議長(鳩山和夫君) 動議ナラ宜シイ、質問ナライケマセヌ
 ○工藤行幹君(百九十七番) ツレナラ緊急動議トシテ……

○議長(鳩山和夫君) 緊急動議ナラ宜シイ
○柏田盛文君(二百九十八番) 議長々々
○議長(鳩山和夫君) 既ニ工藤君ニ發言ノ權利ヲ與ヘマシタカラ、其後トニ願ヒマス

(工藤行幹君演壇ニ登ル)

○工藤行幹君(百九十七番) 私ハ小室君ノ演説ニ就イテ——小室君ノ演説ハ、決シテ其儘ニシテ置カル、モノシヤナイ、故ニ一應私ハ小室君ノ答辯ヲ得テ私ハ直チニ動議ヲ提出シタイト思ヒマス、ト云フモノハ他デハナイ、此議員買収、議員買収ト云フコトハ、公衆ノ認メテ居ルコトデアアルト云フコトデアアル、苟モ吾々ハ此立法院ニ立ツテ議員ノ一人ト爲ツテ居ル者デゴザリマス、議員ヲ買収シタ、此事ノタメニ言フノデハナイ、買収セラレタ者ガ、若シ此三百人ノ中ニアリトスルナラ、實ニ此議會ノ神聖ヲ紊シタモノデアアル、唯今ノ演説ト云フモノハ、既ニ此議會——議員ノ中ニ買収セラレタ者ガアル、ソレヲ明言シタイケレドモ、今此處デハ明言セスト云フガ如キ意ヲ言フタノデアアル、果シテ其事ガアルナラバ、小室君ハ十分ニ何某ガ買収セラレテ、ドレダケノ事實ガアルト云フコトヲ、明ニ私ハ承リタイ、何ノ何某——何番ノ何ノ何某、金何程ヲ以テ、ドウ云フ手續デ買収セラレタ(大笑)之ヲ承リタイ、御答アラントラ希望致シマス(ソナテ質問ハ無用ト)呼フ者アリ) 若シ小室君ガ答ヘルナラバ、私ハ動議ヲ提出致シマス、若シ小室君ガ此事ヲ——其實ヲ言ハズシテ、買収セラレタト云フコトヲ言フナラバ、此議會ヲ辱メタモノデアアル、故ニ之ヲ懲罰委員ニ付シテ、相當ノ處分アラントラ希望スルト云フ動議ヲ、私ハ提出致シマス

○小室重弘君(二百九十八番) 質問ノ質問ニ對シテハ、私ハ答辯ヲ致シマセヌガ、他ノ動議デゴザイマスルナラ、承ツテモ宜シイガ、私ハ意見ヲ述ベテ、斯ノ如キコトガアツテハイカヌト云フコトヲ、政府ニ質シタニ過ギマセヌ

○工藤行幹君(百九十七番) 私ノ動議ノ所以ト云フモノハ、何某ガ買収セラレタト云フコトヲ明言スルコトガ出来ナイナラバ、其事ガナイノニ相違ナイ、ナイノヲ以テ、議員ガ買収セラレタト云フコトヲ言フノハ、此議會ヲ辱ムル者デアアル、即チ是ガ懲罰委員ニ付サナクチャナラヌ、故ニ懲罰委員ニ付シテ、果シテ此事ガアルカ否ヤヲ取調べテ、イヅレ買収セラレタ者ハ買収セラレタモノ、買収セラレタ者ガナケレバ、發言者ヲ懲罰ニ付サナクチャナラヌ、故ニ私ガ此動議ヲ提出致シマス、願クハ御賛成アラントラ希望致シマス

(賛成々々)ト呼フ者アリ)

○柏田盛文君(二百九十八番) 唯今工藤君ノ言ハレタ緊急動議ハ決テ御採リニナルノデスカ

○議長(鳩山和夫君) 勿論其積デス

○柏田盛文君(二百九十八番) 然ラバ賛成デアリス

○井上角五郎君(二百八十番) 是ガ動議デアラナラバ、一應確メテ置キマス、動議ノ趣意ヲ確メタルタメニ、本員ハ發言ヲ求メマス

○議長(鳩山和夫君) 宜シイ

○井上角五郎君(二百八十番) 唯今工藤君ガ、小室重弘君ヲ懲罰委員ニ付スルト云フノデアアルガ、懲罰委員ニ付スルト云フノハ、ドウ云フ罪ヲ以テ懲罰委員ニ付スルノデアアルカ

○工藤行幹君(百九十七番) 議會ヲ罵詈雑言シタ者デアアルカラ……
○井上角五郎君(二百八十番) 宜シイ、小室重弘君ハ確ニ三十名ノ賛成者ガアツテ質問書ヲ提出シタ者デアアルト思ヒマス、懲罰委員ニ付スルハ、誰ダケヲ懲罰委員ニ付スルノデアアリマスカ

○工藤行幹君(百九十七番) 私ハ發言者ヲ——今言ツタ者ヲ懲罰委員ニ付スルノデアアル、即チ小室重弘君ヲ……

○井上角五郎君(二百八十番) 小室君ノ唯今ノ演説ハ、本員モ稍々聴キ苦シク感ジテ居リマシタケレドモ、斯ウ云フ事實ガアルト云フガ、ドウデアアルカト云フ疑デアアル、此議員ノ中ニ買収セラレタ者ガアルト云フコトハ、新聞モ皆サウ言ツテ居ル、サウ言ツテ居ルガ、アレガ本當デスカ、私ハドウモ本當トモ嘘トモ分ラヌ、御前ハ泥棒ダ、工藤君ハ泥棒ダト言フタラ、私ハ泥棒ジヤナイ、サウダラウ、泥棒デアアル答ハナイ(喝采)是ガ懲罰問題ニナツテハ、吾々言論ノ自由ヲ以テ此議場ニ出席シテ居ル者ニ、斯ウ云フ議論ヲ出スノハ、本員ハ帝國議會ノタメ、吾々自由ノ——此言論ノ自由ニ最モ重キヲ感ズルガタメニ、就中民黨、從來言論ノ自由ヲ専ラ盛シニ唱來ツタ此内閣ヲ賛成スルノハ、新聞紙ノ發行停止ヲ止メルガタメニ賛成スルノデアアル、獨リ自由ヲ唱來ツタ工藤君自カラ發言スルナドハ、實ニ慨嘆極マル、願クハ工藤君——本員ハ工藤君ニ強ヒテ望ム、ドウカ我日本國ト云フモノ——人民ニ斯クマデ自由ヲ重シテ居ルト云フコトヲ知ラシメルタメニ、此議題ヲ御引キニナルコトヲ希望スルノデアアリマス

○工藤行幹君(百九十七番) 決シテ引クコトハ出来マセヌ、井上君ノ如ク、腸ノ腐敗シテ居ル者トハ邊フノデアアル、此質問デアリマスレバ答ヘマス

○井上角五郎君(二百八十番) 質問ノ趣意ハ……

○議長(鳩山和夫君) 井上君ノ質問ノ趣意ハ……
○井上角五郎君(二百八十番) 質問ノ趣意ハ……
○井上角五郎君(二百八十番) 質問ノ趣意ハ……
○工藤行幹君(百九十七番) 質問ノ趣意ハ……
○井上角五郎君(二百八十番) 質問ノ趣意ハ……
○議長(鳩山和夫君) 緊急動議ト認メタルヤ否ヤト云フコトニ就イテ、採決シヤウト考ヘマス——工藤君ノ動議ヲ緊急動議ト認ムルト云フコトニ同意ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

起立者 少數

○議長(鳩山和夫君) 少數ト認メマス(拍手起ル)大藏大臣松方正義君

(大藏大臣伯爵松方正義君演壇ニ登ル)
○大藏大臣(伯爵松方正義君) 貨幣條例ノ改正ニ就キマシテ、理由ヲ陳述致シマスル前ニ當ツテ、一言ヲ述ベテ置キマス、唯今二百九十六番ノ質問ヲ傍聴シマシタガ、是ハイヅレ其書面ヲ見マシタ上デ、徐カニ御返事致シマセウ、

又誠ニ神聖ナル議場ニ於テ不穩當ナル御口上ト云フコトヲ私ハ認メマシタ是
ヨリ貨幣法ノ改正ニ附イテ申述ベマセウ、諸君、貨幣制度ノ更否ハ經濟上ノ
要件ニシテ、國家ノ利害、國民ノ休戚ニ大關係ヲ有スルコトハ申スマデモア
リマセヌ、故ニ之ガ改正ヲ議スルニ當リマシテハ、慎重ノ注意ト、周到ナル
調査ヲ要スルノハ勿論デアリマス、ソコデ先ヅ我國ノ幣制ヨリ御話ヲ始メマ
シテ、少シク諸君ノ御清聴ヲ煩シマス、本邦上古ノ事ハ略シテ置キマスガ、
貨幣制度ノ略、創定セラレ、以テ今日ニ於ケル貨幣ノ基礎ヲ開キマシタノハ、
實ニ慶長年間デアリマシテ、徳川政府金銀座ヲ開キ、大イニ金銀ヲ鑄造シ、
普ク世上ニ通用セシメ、全國一定ノ寶貨ヲ見ルニ至リマシタ、其制度ニ依レ
ハ、金銀銅併用ノ制デアリマシタ其後ニ至リマシテ金銀ノ改鑄ガ頻繁デ、段
段其品質ガ劣惡ニ趣キマシタガタメ、幣制ニ紊亂ヲ來シ、金銀ノ比價モ種
種ニ變動シ、之ヲ海外一般ノモノニ比スレバ甚ダ不倫ニシテ、安政條約ノ頃、
內國ニ於テハ小判ト一分銀ノ割合、金一ニ對シ銀八餘ニ過ギザリシモ、海外
ニ於テハ十五六デアリマシタ、斯ノ如キ幣制ヲ以テ俄ニ海外ノ交通互市ヲ開
キタルカタメ、金ノ散失ハ勢ヒ免レ難ク、徳川政府ニ於テ貨幣ヲ變更シ、金
銀比價ヲ高メ、以テ金ノ流出ヲ防ギマシタケレドモ、其施ス所徒ニ姑息彌縫
ノ手段ニ過ギザリシタメ、毫モ其功ヲ奏スルコトガ出來マセヌデアリマシタ、
明治初年ニ於テ政府ハ幣制ヲ改革シ、更ニ萬國ノ良制ト我國ノ慣例トヲ折衷
シテ、畫一純正ノ貨幣ヲ新鑄シ、金貨本位ヲ施行シ、銳意貨政ノ紊亂ヲ整理
シ、金銀ノ輸出ヲ防禦シマシタ、然ルニ新政府創業ノ多端、兵馬ノ倥傯、加
フルニ國幣ノ空乏トニヨリ、不換紙幣ノ増發ト爲リ爲ニ金銀正貨ノ輸出ヲ促
スコトニナリマシタ、抑、政府ガ、紙幣發行ノ議ヲ決セシハ明治元年一月ニ
シテ、當時政府ノ財政困難ハ其極度ニ達シ、遂ニ已ムコトヲ得ズ紙幣發行ノ
議ヲ採用シタデアリマシタ、此紙幣ハ太政官札ト稱シ、十三年限通用ノモノ
ノデ、不換紙幣デアリマシタ、尋デ民部省札、其他數種ノ紙幣ヲ發行シ、其
高方巨額ニ上ボリマシタ、斯ノ如ク政府紙幣流通高ハ著シク増加スルニ至リ
マシタガ、最初ハ其高我國通貨需要高ノ範圍内ニアリマシタカ、漸次貿易
ト並價ニ流通シ、其價格下落セザリシモ、其性質ノ不換タルガタメ、漸次貿
易上ニ影響ヲ及シ、輸入ノ超過ト正貨ノ輸出ト促シマシタ、加フルニ明治
九年國立銀行條例ノ改正ニ依リ、銀行紙幣モ不換ト變ジ、其發行額モ三千四
百萬圓ニ上ボリ、爲ニ不換紙幣ノ流通額ハ益々増加シマシタ、斯ノ如ク政府
紙幣、銀行紙幣、流通高増加ノ結果ハ、紙幣ノ下落ト爲リ、正貨ノ輸出ト爲
リ、貿易上輸入ノ超過ト爲リ、物價及金利ノ騰貴トナリ、公債證書ノ下落ト
爲リ加フルニ奢侈ノ弊風ハ熾ニナリ、投機心ハ勃興シ、經濟財政ノ狀況ハ非
常ノ危殆ニ陥リマシタ、ソコデ政府モ種々苦心致シマシテ、幣制整理ノ大方針
ヲ定メ、銳意實行ヲカメマシテ、明治十四年、正金銀行ヲ整理シ、海外金融
機關ノ規模ヲ擴張シ、十五年、日本銀行ヲ設立シ、金融疏通ノ方法ヲ講ジ、國
立銀行條例ノ改正ナリ、兌換銀行券條例ノ發布ナリ、皆紙幣整理統一ノ目的ニ
出ダタルモノデアリマス、其他豫備札ヲ引上ゲ、或ハ金札引換公債證書ヲ發
行シ、或ハ歳入ヲ増シテ歳出ヲ節シ、歲計ノ剩餘ヲ以テ、政府紙幣ヲ消却シ、
或ハ準備金ヲ運用シテ正貨ヲ吸收シ、紙幣兌換資金ノ増殖ヲ圖リマシタ、幸
ニモ苦心畫策ノ效力アリマシテ、明治十九年ヨリ紙幣ノ兌換ヲ實施シ一時ハ
七割ノ差アリシ銀紙モ、茲ニ始テ同價ト爲ルニ至リ、不換紙幣ノ始末ハ茲ニ一

段落ヲ告ゲマシタ、然ルニ正貨ノ流通如何ト願ミマスルニ、國內ニ流通ス
ルモノハ甚ダ少ナウゴザリマシテ、明治十一年五月、第十二號ノ布告ヲ以
テ、貿易一圓銀貨ノ通用區域ヲ擴張メマシテヨリ以來、金本位制ハ兩本位ノ制
度ニ變更サレマシタ、然ルニ實際ハ百餘交換ノ媒介ニ總テ銀貨ヲ用ヒルヲ以
テ、純然タル銀本位制ト爲リ、金貨ハ僅ニ貨幣ノ名稱ヲ存スルノミニシテ、
流通ニハ出ヌコトニナリマシタ、然ルニ銀價ハ、明治六年以來次第ニ下落シ、
今日ニナリマシテハ其半價ニ下リ、當ニ下落セシノミナラズ、其浮沈極リナ
ク、今日ヲ以テ明日ヲ計ルベカラザルコトニナリマシタ、今何ガ故ニ金銀ノ
比價ノ變動ガ、斯ノ如ク甚シキヤト云フニ、主トシテ金銀產出ニ原因シテ居
ルヤウデアリマス、世界ノ銀產出高ハ近來非常ノ巨額ニ達シ、現ニ一昨年ノ
如キハ一億七千萬「おんす」、昨年ノ如キハ二億萬「おんす」ニ上ボリマシテ、
之ヲ二十年前ニ比ベマスト殆ド三倍ノ増進デアリマス、斯ノ如ク銀ノ產出ハ
増加スルニ拘ラズ、金ノ產出ヲ見マスト、一昨年ノ如キハ九百萬「おんす」、
昨年ノ如キハ千萬「おんす」デアリマシテ、之ヲ二十年前ニ比スレバ僅ニ二
倍ノ増加ニ過ギマセヌ、此取調ベハ多クハ亞米利加ノ造幣局長ノ報告ニ依リ
マシタノデゴザリマス、此ノ如ク金銀ノ產出ニ懸隔ガアリマスカラ、此兩者ノ
比價モ亦次第ニ差違ヲ生ジ、二十年前マデハ金一ト銀十五ノ割合ガ、今日ニ
テハ金一ト銀三十以上ニナリマシタ、尤モ金銀ノ比價ノ定マルノハ產出バカ
リデハナク、其他二人爲ノ原因等モアリマスガ、兎ニ角產出上カラ見テモ、
金銀ノ隔リハ著シキモノデアリマス、右ノ如ク金銀ノ比價ノ狂ヒガ激烈デア
リマスカラ、復本位又ハ銀本位ヲ用ヒテ居ル國デハ非常ノ困難ヲ生ジ、危險
ノ念ヲ抱キマシテ、各國トモ銀ヲ排斥シテ金本位トナリ、又ハ法律上ハ複本
位デアリナガラ、銀貨ノ自由鑄造ヲ廢止シテ、事實金貨國ト爲シテシマヒマシ
タ今明治六年以後ニ於ケル各國幣制ノ變革ヲ見マスト、先ヅ獨逸幣制ノ改
革ニ重キヲ置カナクテハナリマセヌ、蓋シ獨逸諸國ニ於テ政治上ノ聯合ハ出
來マシタガ、幣制ノ統一ハ未ダ其緒ニ就キマセズ、現ニ幣制改革ノ原議ニモ
アル如ク、當時獨逸帝國ノ中ニ七種ノ幣制ガ存在シテ、其大部分ハ一ハれる
銀本位制デアリマシタ、各地計算ヲ異ニシ、徵稅上ニ商業上ニ其不便云フベ
カラザルホドデアリマシタ、茲ニ於テ幣制統一ノ議ガ起リ、遂ニ千八百七
十一年、即チ明治四年ニ金貨幣製造ノコトヲ布告シ、其際幸ニ普佛戰役ノ結
果、十三億九千五百萬「おんす」ニ至リマシタ、其價金ノ内三億四千萬「
おんす」ハ金貨鑄造ノ用ニ供シマシタ、漸次銀ヲ賣ツテ金ニ換ヘマシタガ、
其後銀價下落ノ著シキタメ、明治十二年頃ニハ、已ムコトヲ得ズ賣銀ヲ見ガ
セマシタ、此獨逸幣制ノ改革ハ、世界金銀價格ニ變動ヲ來セシ最大事件デア
リマス、獨逸ニ於テ金本位ヲ施行スルヤ否ヤ、瑞典、諾威モ直チニ金本位ヲ
採用シ、佛國ハ造幣局ニ銀ノ輸納ヲ制限シ、翌年佛蘭西、伊太利、瑞西、白
耳義ノ如キ、羅典同盟諸國モ亦互ニ締約シテ、補助貨ヲ除クノ外、三箇年間
銀貨鑄造額ヲ限定シマシタ、明治八年ニハ和蘭國モ亦金貨ヲ法貨ト爲シ、銀
貨ノ鑄造ヲ停止シ、佛蘭西モ亦之ヲ廢止シマシタ、其他西班牙、露西亞共ニ銀
貨ノ鑄造ヲ停止シ、北米合衆國モ銀貨ノ合法貨タル資格ヲ廢止シマシタ、斯

ノ如ク獨逸幣制ノ改革ハ、歐米諸國ニ一大恐慌ヲ來シ、何レモ金ノ流出ヲ制止シ、銀ノ流入ヲ防キ、只管之ヲ排斥シタルヨリ銀價ハ非常ニ下落ヲ來シ、苟モ銀ヲ所有セル諸國ハ勿論、其產出ノ豐富ナル諸國ハ、種々銀價ノ回復ヲ力メ、北米合衆國ノ如キハ、明治十一年ヲ以テ所謂ぶらんご條約ナルモノニ從ヒ、銀貨ニ合法貨ノ資格ヲ與ヘマシタガ、十八年ニ至リ再び銀貨ノ鑄造ヲ停止シマシタ、併シ明治二十三年ヲ以テ更ニ一ヤン條約ナルモノヲ規定シ、銀ノ購入額ヲ増加シ、其他複本位論ヲ稱道スル等、百方畫策スル所アリマシタガ、何レモ其效ヲ奏シマセズシテ、貴金排銀ノ大勢ハ益々其歩ヲ進メテ參リマシタ、尋テ瀧太利洪牙國モ、明治二十五年ヲ以テ、斷然一億八千三百四十五万六千六百餘金ノ金貨公債ヲ起シ、之ヲ以テテくる一ねノ新金貨ヲ鑄造シテ、金本位制ヲ採用シマシタ、又明治二十六年ニ至リマシテハ銀ノ收入ヲ以テ名高クアリマシタ印度モ、銀貨ノ自由鑄造ヲ廢止シる一び一銀貨ニ缺乏價格即チ一種ノ法定價格ヲ與ヘマシテ、一る一び一附キ一志四べんヲニ超ヘザル割合ニ於テ、英貨一磅ヲ印度ノ法貨トスルコトニ定メマシタ、其他露國モ銀貨鑄造ヲ停止シ、内外市場ニテ金ノ購入ヲ力メ、北米合衆國ノ遂ニ購銀條約ヲ廢止スルニ至リマシタ、此外近年ニ至リマシテ、南米諸國中、智利國ハ明治二十八年ニ金本位國ト爲リ、昨年ニハこすたりか國モ金本位制ヲ採用シマシタ、殊ニ銀ニ關シ利害ノ關係最モ重大ナル北米合衆國モ、金貨說ガ勢力ヲ有スルヤウニナリマシテ、愈々以テ宇内ノ形勢ハ銀ヲ去ッテ金ニ傾キマシタ、上來陳述セルガ如ク、歐米諸國ガ段々金本位制ヲ採用シ、又金本位制ヲ採用セザルモ、金ヲ吸收スルノ策ヲ執ルガタメ、貨幣トシテ金ノ需要ハ著シク増進セシモノナラズ、各國人民ノ嗜好モ、頻ニ金ニ向ヒマシテ、其工藝用品トシテ使用セラル、數量モ、亦決シテ少クゴザリマセヌ、其他金ハ少量ニシテ高價ヲ有シ、且ツ將來價格下落ノ憂ナカルベシト念ヨリシテ、貯藏スル者モアリマス、此等ノ作用ハ相合シテ金ノ需用ヲ増加シマシタ、今翻テ銀ノ需要ヲ考フラス、事態全ク金ノ反對ニ出デマシテ、獨リ貨幣上ノ需要ガ漸次減リマシタノミナラズ、工藝用貯藏用トシテ使用セルモノモ、供給増加ノ割合ニハ増加セズ、銀ヲ好愛セシ印度ノ吸收力ニ變化ヲ來シ、且ツ將來銀ノ需要ヲ増加スベシト豫期セラレタル未開ノ諸國モ、尙ホ未ダ其需要ニ超過スルコト、以上述べタル所ノ如クデアリマスカラ、金ハ騰貴シテ銀ハ下落セザルヲ得マセヌ、銀價ノ高低浮沈スル如ク、銀貨國タル本邦ノ被ル影響ノ頗ル大ナルヨリシテ、政府ハ勅令ヲ以テ明治二十六年十月貨幣制度調査會ヲ設クルコトニナリマシタ、其調査事項ハ、一、近時金銀價格變動ノ原因及其一般ノ結果、二、近時金銀價格變動ノ我邦經濟上ニ及ス影響、三、近時金銀價格ノ變動ハ我國現行貨幣制度ヲ改正スベキ必要アルヤ否ヤ、若シ其必要アリトスルトキハ、新ニ採用スベキ貨幣本位並ニ其施行方法デアリマシタ、是ガ其時ノ問題デアリマシタ、同會ハ同年十月ヲ以テ調査事項ノ審議ニ着手シ、拮据進勉、月ヲ閱スルコト二十二、遂ニ明治二十八年七月ニ調査ヲ完成シマシタ、其報告ニ據レバ種々ノ議論モアリマシテ、其精シキコトハ報告書ニ載セテアリマス故、略シテ置キマスガ、要スルニ結局新ニ採用スベキ貨幣本位ニ就キ、採決ノ結果金本位ヲ可トスル者六名、複本位ヲ可トスル者八僅ニ二名ニ過ギマセナシ、斯ノ如ク貨幣制度調査會ノ衆議ハ、目下ノ幣

制ヲ改正シ、金本位制ヲ採用スベシト云フニ歸著シマシタ、然レドモ金本位ヲ實施センニモ、何分當時是ニ必要ナル金ノ準備ヲ得ルニ難ク、其上當時物價ノ騰貴ハ未ダ甚シカラズ、貿易上、本邦ハ一時ニモセヨ多少ノ利益アル地位ニ在リタルガタメ、未ダ其決議ヲ實行スル運ビニナリ兼マシタ、然ルニ二十七八年事件ノ結果、下ノ關係約ヲ以テ、軍費賠償金二億兩ヲ得テ、尙ホ同年十一月、遼東半島還付報償金三千万兩ヲ受取ルコトニナリマシタ、而シテ此等ノ償金ハ、支那ガ歐洲市場ニ金貨公債ヲ募集シテ調達スルモノナル故、彼我ノ便益ヲ計リ、總テ之ヲ英國ノ金貨ニテ受取ルコトニナリ、既ニ昨年未マデニ受取リマシタ高ハ、金貨二千二百四十万磅餘デアリマス、而シテ其運用ニヨリ、遠カラズ日本銀行ノ金準備モ、新金貨ニテ一億九百万圓餘ニ達スル見込デアリマス、此内現在日本銀行ニハ三千六百七十万圓餘ノ金ガアリマスカラ、残り七千二百六十万圓餘ハ預ケ合ノ作用ニ依リ政府ガ日本銀行ヨリ借入レテ居ルモノヲ金デ返濟スル高デアリマス、此外ニモ銀準備ハ四千九百万圓餘ニ上ボル見込デアリマスカラ、金銀ヲ合スレバ、準備總額ハ一億五千八百萬圓ニナル計算デアリマス、今之ヲ紙幣總高ニ億萬圓以上ニ比ベテ見マスト、半額以上ニ當リマス、シテ見マスト從來憂ヘテ居タ所ノ金本位施行ニ必要ナル金ノ準備ハ、最早ヤ備ツタト云フテ宜シイ、今試ニ本邦ノ物價如何ト考ヘテ見マスト、明治二十七八年事件ノ終局ヲ告グルヤ、殊更著シク騰貴シマシテ、我貿易ニ一大不利益ナル現象ヲ醸スニ至リマシタ、今其景況ヲ實數ヲ以テ示シマスト、明治二十一年ニ比スレバ、昨年ノ物價ハ三割ノ騰貴デアリマシテ、之ヲ戰爭前ニ比シテモ一割ニ上リデアリマス、此物價騰貴ノ原因ニ關シテハ、茲ニ聊カ辯解ノ必要ガアリヤウデアリマス、世間ニハ此騰貴ヲ以テ悉ク通貨ノ膨脹ニ歸スルハモアリマス、成程通貨モ多少膨脹シテハ居リマスガ、支那、朝鮮、臺灣等ニ出タ高引去リ、且ツ之ヲ各地事業ノ發達ナリ、輸出入貿易ノ増進ナリニ對照シテ見マスト、強チ通貨膨脹ノモノノ結果デアアルマシ思ハレマス、然ラズ物價騰貴ノ主タル原因ハ何處ニアルヤト云ヘバ、物品需要ノ増加モアリマスガ、銀貨下落モ亦舉テ力アリト申サナケレバナリマセヌ假ニ其原因ハ種々様々デ、一概ニ言ハレヌトシタ所ガ、免ニ角本邦ノ物價ハ近時著シク騰貴シ、我貿易上不利益ナル結果ヲ生ジマシテ、明治二十九年ニハ幾分か戰爭ノタメデアリマセウガ、五千三百餘萬圓ト云フ實ニ驚クベキ非常ノ巨額ナル輸入超過ヲ生ジマシタ、ツレデ金準備ノ調達ト云ヒ、物價ノ騰貴ト云ヒ、何レノ點カラ見テモ、今日ハ實ニ金本位採用ノ時機デアリマスルコトハ御分リニナツタラウト信ジマス、就イテハ今ヨリ如何方針順序ニテ幣制ノ改革ヲ實行シタナラバ宜イカト云フコトヲ申述ベマセウ、本法現行ノ貨幣條例ヲ改正スルニ當リ、宜シク講究スベキ要點ハ二ツアリマス、第一新金貨幣ハ現行金貨幣ノ半量トシ即チ純金二分トスルト云フコト、之ガ今ノ貨幣條例ノ即チ單本位ニナツテ居ル所ノ基礎デ、之ヲ半分ニスルト云フコトデアリマス、第二、從來發行ノ本位銀貨ヲ廢止シテ、純然タル金本位制ニ移ルト云フデアリマス、凡ソ貨幣制度ノ改正ヲ爲スニ當リ注意スベキハ物價賃借、租稅ノ負擔、其他現在ノ關係ニ變動ヲ生ゼザラシムルノ點デアリマスガ、此點ニ就イテハ最モ深ク注意ヲシマシテ、現行一圓銀貨ノ實價ニ均シキ新金貨ヲ發行スルコトニ致シマシタ、而シテ其實價ヲ如何ニシテ定ムルヤト云フハ大切ノ點デアリマシテ、種々考

ヘテ見マスルニ、金銀比價數年ノ平均ヲ取レバ宜シイヤウデアリマスガ、段
段述ベマシタ如ク銀貨ノ如ク變動ノ急激ナルモノニハ、平均ノ採リヤウガ
困難デアリマシテ、強ヒテ平均ヲ取レバ今日ノ實際ニ當テ徹リマセヌ故ニ、
最近ノ相場ニ依ルノ外ハアリマセヌ、而シテ愈々我國デ金本位ヲ採用スル
云フコトガ確定ニナレバ金ハ多少上ル傾キヲ持チマスカラ、多少將來ヲ見越
シテ、少シク實際ヨリハ金ヲ高ク見積ルコトガ必要デアリマス、サスレバ、
本年一月中ノ倫敦銀塊平均相場金一ト銀三十二弱ヨリ少シ上ゲテ、一ト三十
二餘ニ定ムルガ宜シカラシ、サスレバ舊金貨一圓ハ、新金貨一圓ノ倍位ト爲
リ、新舊金貨幣流通上ノ便宜モ少カラヌ譯デアリマス、金銀ノ比價ヲ本邦ノ
相場ニ依ラズシテ、倫敦ノ相場ニ依テ定メマシタ理由ハ、本邦デハ金貨ハ久
シク流通ニ現ハレマセヌ故、海外ヨリハ自然金ノ直段ガ安スクナツテ居ルカ
ラデアリマス、少シク金ヲ高ク見込メバ、僅ニモセヨ、實際ノ銀價相場トノ
差違ガアルダケハ、物價ガ上リハセヌカト云フ理窟モアリマスガ、是ハ實際
ニ影響スル程ノコトハナイト存ジマス、右ノ邊デ實行シマシタナラバ、幣制
改革ノタメ物價、賃銀、賃借、租稅ノ負擔、其他現存ノ關係ニ變動ヲ起サ
ルコトガ出來ルト思ヒマス、次ニ一圓銀貨ノ始未デアリマスガ、是ハ明治十
一年以降、既ニ内地一般法貨トシテ、無制限ニ通用ヲ許シマスガ、是ハ明治十
一カ以降、其通用ヲ止メマスニモ、相當ノ期限ヲ與ヘネバナラヌ故ニ、當分
從前ノ通用ヲ許シマスケレドモ、出來ルダケ速ニ流通ヨリ引去ル計畫デア
リマス、而シテ一圓銀貨ノ代リニハ、五十錢以下ノ銀貨ヲ造リ、又一圓兌換
券ハ當分ノ存スルヲ以テ、民間ノ取引ニ不便ナキ見込デアリマス、他日一
圓券モ不用ト爲ルニ至レバ、更ニ之ヲ減却スルモ差支ナキコト、存ジマス、
序ナガラ申シテ置キマスガ、今後各地事業ノ勃興ニ伴ヒマシテ、補助貨ノ増
鑄ハ必要デアリマスガ、殊ニ一圓銀貨ヲ引揚ゲマスルニ從ヒマシテ、補助銀
貨ヲ發行シ、民間ニ多クノ正貨ガ使用セラレテ居ルヤウニスルノハ、國家幣
制ノ土臺ヲ堅固ニスル所以デアリマス、右ノ如ク一圓銀ハ廢止シ、從テ兌
換發行券ハ、金貨引換ノコトニ改正致シマスガ、英蘭銀行條例ノ例ニ倣ヒ、他
日ノ必要ヲ慮リ、制限ヲ付シテ銀ヲ日本銀行條例準備中ニ加フルコトニ致シ
マシタ、其他現行ノ貨幣條例ハ、頗ル不備ノ所ガアリマスカラ、修正ヲ加ヘ
マシタガ、巨細ナル事柄ハ、此度提出ノ各法律案ニアリマスカラ、略シテ置
キマス、今ヨリシテ種々ノ懸念ニ對シ、一言致シテ置キマセウ、第一、本邦
ヨリ輸出セル一圓銀貨ノ高ハ、非常ノ巨額ニ上リ、本年一月マデノ輸出額一
億二千二百萬圓以上アリ、然ラバ之ヲ輸入シテ金ヲ引出サル、ノ憂ナキヤト云
フノデアリマスガ、御承知ノ通、本邦ヨリ出タ所ノ銀貨ハ、多クハ支那地方
ニ參リ、彼國デハ殆ド地金トシテ取扱ハレテ、非常ニ毀損シテ居リマスカラ、
最早貨幣タモノ效用ハアリマセヌ、段々彼地實地ニ就テ取調ベテ見マシタ
ガ、無傷ナモノハ香港新嘉坡其邊ニ通用シテ居ルモノ、外ハ極ク少ナクアリ
マシテ、彼地デモ平常ノ取引ニ用ヒラレテ居リマスカラ、ツマリ引換ニ來ル
ノハ多ク、彼地ノ思ヒマス、是ハ最近ノ報告ヲ得マシテ實地ノ事ヲ確ニ承リマ
シタガ、愈々少數ノ品デゴザイマス、況ヤ新金貨ト割合上銀ノ方ヲ安ク定メ
テアリマスカラ、尙更引換ハ少ナカラウト思ヒマス、故ニ甚シク金ヲ吸取ラ
ル、ト云フコトハ、起ラヌト信ジマス、又金ノ準備ハ、今日ハ十分トシテモ、
將來之ヲ維持スルコトガムツカシクハナイカト云フ懸念デアリマスガ、我國
ノ生産力輸出力ガ増進シマセヌトキハ、此懸念ハ今日銀貨本位ノ儘デモ起ル

モノデアリマスガ、本邦既往ノ進運ニ微スルニ、將來益々貿易ノ發達、生産
事業ノ隆盛ヲ致ス譯デアリマスカラ、此憂ハナイト思ヒマス、現ニ昨年ノ如
キ例外ノ年ヲ除キマシテ、數年ノ平均ニ依ルトキハ、明治二十一年以後八箇年
間銀國ヨリノ輸入超過高ガ、平均千五百萬圓餘アリマス、ケレドモ金貨國ニ
對シテハ、輸出超過高ガ千餘萬圓デアリマスカラ、差引キ金貨ヲ我國ニ取
入ル、方ガ多クデアリマス、故ニ此度合ヲ以テ進ムト假定スレバ、別ニ懸
念ハアリマセヌ、其上我國ノ地形ハ、濠洲及かりほるにやナドノ金產出國ニ
連ツテ居リ、又支那、朝鮮カラモ年々金ノ輸出ガアリマスカラ、多少骨ヲ折
リサヘスレバ、金ノ吸收ニハ困難ハアリマス、第二、貿易上多少懸念ス
ル人モアルヤウデアリマスガ、成程本邦ノ貿易ハ、物價實銀ノ騰貴ガ甚シク
ナルコトデアリマス、銀價下落ノタメ多少増進シタカモ知レマセヌ、併シ是ハ全ク一
時ノコトデアリマシテ、銀ノ下落シタ程度マデ、物價實銀ガ騰貴スレバ殆
ド消滅シテシマスマス、實ニ近年本邦貿易ノ増加ハ著シクアリマスケレド
モ、是ハ銀價下落バカリノタメデアリマス、故ニ今日ノ如ク物價ノ騰貴
達、教育ノ進歩等與ツテ力アルコト、思ヒマス、故ニ今日ノ如ク物價ノ騰貴
ガ甚シクナリマスレバ、銀價下落ノ利益ドコロカ、寧ロ害ノミ受クル譯ニナ
リマス、又支那ノ如キ銀國ニ向ツテ、他ノ金貨國ト競争スル上ニ於テ、今日
金ニ改メテモ、我國ハ距離ニ於テ東洋市場ニ近ク、且ツ賃銀モ廉デアリマス
カラ、從來ノ地位ヲ失フノ虞ハアルマイト存ジマス、將來銀價ガ下落スルモ
ノトスレバ、支那ノ生絲ヤ茶ト、金貨國市場ニ於テ競争スル上ニ、我國ハ不
利益デハナイカト云フ懸念モアリマセウガ、是モ一時ノコトデアツテ、金本
位ニ依ツテ得ル所ノ爲換淨沈少キノ便ト、永遠ノ利益トヲ以テ償フテ餘アル
コト、存ジマス、此論ハ印度幣制改革ノ時ニモ、調査委員ノ間ニアリタルコ
トデ、決シテ差支ナイトノ論定ニナリマシタ、ソレカラ何事デモ多少ノ反對
ハ免レマセヌガ、殊ニ此幣制ノ事ニ就イテハ各國トモ議論ガアリマシテ、全
ク異口同音ト云フコトノ望メヌノハ當然デアリマス、有勝チノ反對ハ、成ル
ベク現行ノ制度ヲ維持シタイト云フ銀本位說デアリマス、併ナガラ今日ノ如
ク銀價ノ變動著シキ有様デハ、到底銀本位デハ、將來本邦ノ發達ニ害アルコ
トハ、既ニ繰返シテ申述ベタ通デアリマス、次ニ強キ反對ハ複本位論デアリ
マスガ、是ハ歐米デモ學者ヤ東洋貿易家ノ間ニハ隨分行ハレテ居リマスガ、
何分トモ實行ノムツカシキ問題デアリマシテ、實際ハ金銀交代本位ト云フコ
トニ歸著シマシテ、到底一國ノ孤立獨力デハ行ハレマセヌ、ソコデ彼ノ萬國
貨幣會議ノ事ニ就イテ、少シク御話ヲセネバナリマセヌガ、是ハ銀價維持シ
複本位ヲ實行スルタメ、前後數回開カレタモノデアリマスガ、ナカノ目的
ヲ達シマセヌ、最近ノ會議ハ、銀ノ將來ニ就キ直接ノ利害ヲ感ズル、米國ノ
主張ニ依リ、明治二十五年ニ白耳義國ぶるくせる府ニ開カレタノデアリマ
シテ、二十箇國ノ代表者ガ集リマシタガ、此度ノ會議モ亦何等ノ決議モセズ
ニ終リマシタ、其後一昨年來、萬國貨幣會議召集ノ議ハ歐米各國ニ起リマシ
タガ、今日ニ至リマシテモ實行ヲ見ルコトガ出來マセヌ、縱シ又他日召集ノ
コトガ運ンデモ、有效ナル決議ガアルト云フコトハ望ガ少ナウゴザリマス、
殊ニ各國中ニテ有力ナル英國デハぶるくせる萬國貨幣會議ノ翌年、直チニ印
度ノ幣制ヲ改革シマシタ位デ、萬國複本位ハ益々望少クナリマシタ、縱シ一
歩ヲ讓リ萬國貨幣同盟ガ行ハレ、複本位制ガ採用サル、ト假定シテモ、金本

位ニナツテ居レバ決シテ差支ハアリマセヌ、之ヲ要スルニ萬國協同デナクテハ模本位ハ行ハレヌ、所ガ萬國同盟ト云フ事ハ困難デアルトスレバ、模本位論ノタメニ、斯ノ如ク大切ナル事柄ヲ見合スル譯ニハマイリマセヌ、是ニ由ツテ之ヲ觀マスト、懸念ノ點モ反對モ格別ナ事ハアリマセヌガ今貨幣制度改革ノ必要ト利益ト少シク述ベテ置キマセウ、先ツ經濟上ノ利益ヲ舉ゲテ見マスト、第一ハ物價ノ變動ヲ避クルノ點デアリマスカラ、物價ガ絶エズ昇降浮沈スルノ弊ヲ免レマセ、一體物價ガ浮沈極リナクシテ騰貴スルニ當ツテハ、市場ハ一時好景氣ヲ呈シマストスレドモ、漸次原料竝ニ價銀ニ影響ヲ及シ、遂ニ生産ヲ害シ輸出ヲ減少スルニ至リマセ、是ニ反シテ若シ又物價ガ暴落ニ傾ケバ、商業社會、金融社會ニ損害ヲ與ヘマセ、免ニ角物價ニ急激ノ變動ノナイノガ一番宜シ、然レドモ、彼ノ銀ヲ以テ本位トセル間ハ、此變動ヲ免レ難ク、之ヲ避ケヤウトスルニハ、是非トモ金本位ニ依ラネバナラヌト思ヒマセ、次ハ輸出ノ増進スル事デアリマセ、貨幣本位ガ金ニナレバ、其制度ヲ一ニセル海外諸國トノ貿易取引ハ甚ダ便利ニナリ、且ツ物價ノ變動ヲ避ケ、爲ニ生産ノ發達ヲ來シ、隨ツテ輸出貿易ヲ増進スルニ至リマセ、次ハ爲換ノ變動ヲ減ズル利益デアリマセ、銀貨國タル本邦ハ銀貨ノ變動ニ從ヒ、常ニ金貨國ト爲換ニ動搖ヲ生ジ爲ニ商業ヲ滯滞スルモノデアリマセ、ガ、爲換ノ動搖ハ甚ダ貿易上ノ大害デアリマセ、今若シ本邦ニシテ金貨國タルニ至ラバ、其弊害ヲ除去ルコトガ出來マセ、次ハ金融擴張ノ便デアリマセ、我國モ追々國勢ノ發達スルニ從ヒ、進テ萬國ノ市場ト氣脈ヲ通ズルノ必要ヲ感ズルニ至レリ、然ルニ現今本邦ト海外トノ金融ハ殆ド隔離シテ居リマセ、我邦幣制ノ鞏固ト爲ルニ至レバ、彼我金融市場ノ間ニ、融通ノ便ヲ増スコトト存ジマセ、其他財政上ニモ頗ル便宜ヲ生ズルコトモアリマセウ、併シ元來貨幣本位ノコトハ、國家經濟問題デアリマシテ、單ニ財政上ノ便否ヲ以テ取捨スル譯ニハ參リマセヌ、抑、金本位實施ノコトハ、我邦慶長以來ノ歴史ニ徴シ、廣ク内外ノ大勢ニ鑑ミ、遠ク將來ヲ慮リタルモノニシテ、我邦貨幣ノ基礎ヲ鞏固ナラシメ、經濟上健全ナル發達ヲ望ムタメデアリマシテ、此問題ノ大體ハ、各國トモ既ニ定論ノアルコトデアリ、埃洪國ノ如キハ、國債ヲ起シテモ此事ヲ決行シタ位、多少兩本位等ノ異論アルニモ拘ラズ、實地問題トシテハ最早疑ヲ容ル、ノ餘地ナキモノデアリマセ、加之金ハ棄テ、置ケバ他國ニ吸收セラレ、一度我手ヲ離レバ、再ビ吸收スルニ困難デアリマスカラ、金ノ吸收ニ便ナル今日、速ニ決行致シタキモノデアリマセ、萬一決行ノ速ナラザルトキハ、經濟上不安ノ念ヲ生ジ、少カラザル損害ヲ生ズルコト、存ジマセ、實ニ此事タル國家至重至大ノ要件デアリマセ、既ニ貨幣制度調査會ニ於テモ十分細密ニ調査シ、且ツ其委員中ニハ、貴衆兩院ノ議員ノ人モ加ハツテ居ラレタコトデアリマスカラ、諸君ニ於テ篤ト審議ヲ盡サレ、速ニ御協贊ヲ與ヘラレシコトヲ望ミマセ

○栗原亮一君(二百八十八番) チョット大藏大臣ニ質問致シタイ
 ○議長(鳩山和夫君) 大藏大臣ノ演說ニ就イテ質問デスカ
 ○栗原亮一君(二百八十八番) 左様デス、私ノ質問ハ少シ長クナリマスカラ、大藏大臣ハ著席サレテモ宜シウゴザイマスカラ、ドウカ其代リ、私ノ質問ニ對シマシテハ親切ナル答辯ヲ與ヘラレシコトヲ希望致シマセ

○栗原亮一君(二百八十八番) 貨幣法案ニ就キマシテハ、大藏大臣ヨリ縷々ノ御說明ガアリマシタ、併ナガラ本問題ハ國家ノ財政、社會ノ經濟ニ於キマシテ、最モ重大ナル關係ヲ有スルモノデアリマスカラシテ、尙ホ吾々ハ是マテノ御說明ニ於テ要領ヲ得ザル點ガアリマスカラシテ、實ニ此事ハ大切ナルコトデアリマスカラシテ、ドウカ是ニ對シマシテハ、親切ナル答辯ヲ與ヘラレシコトヲ希望致シタイ
 ○栗原亮一君(二百八十八番) 此法案中ニハ、第六條デアリマセ、之ヲ別ケテ簡單ニ質問ノ主意ヲ述ベルデアリマセ、前刻モ貨幣制度調査會ノコトヲ御述ベニナリマシタガ、即チ我帝國ニ於キマシテモ、世界各國ノ貨幣制度ノ變遷ノ中ニ、唯此儘ニ付スコトガ出來ナイデアアルカラ、大ニ調査ヲ致シテ、我帝國ノ貨幣制度ヲ宜シク定メケレバナラヌト云フ主意ヲ以テ……
 ○議長(鳩山和夫君) チョット御注意致シマセ、十六條ノ中ニ就イテノ質問ハ日程ニ遺入ツテカラ願ヒマセ、大藏大臣ノ演說ニナツタ事柄ニ就イテ、此際ハ御質問ヲ願ヒマセ

○栗原亮一君(二百八十八番) ハイ、宜シウゴザイマセ、此貨幣制度調査會ニ於キマシテハ、即チ調査ノ結果ヲ報告ニナリマシタ所ニ於テ種々ナル議論ガアリマシタガ、金貨本位制ヲ急ニ之ヲ行ハシナラヌト云フ議ヲ唱ヘラレタノハ阪谷芳郎君一人ニ致シマシテ、其他模本位、或ハ銀論種々アリマシタガ、要スルニ現在ニ貨幣制度ヲ改革スルノ必要ハナイト云フノガ多數デアリマシタ、此中ニハ或ハ金論者アリ、銀論者アリ、模本位論者モアリマシタケレドモ、即チ此金本位ヲ採ル所ノ者モ、其準備ニ止メルガ宜シイト云フ是ガ論結デアッタノデアリマセ、先刻大藏大臣ノ御話ニ據リマスト云フト、此調査ノ決議ハ、金貨制ヲ單ニ之ヲ急ニスルト云フ意味合デアリマスカレドモ、先ツ其準備ニ止マルト云フノガ多數ノ意見デアリマシタノデアリマドモ、又此時ニ於キマシテ、彼ノ日清戰爭ノ結果ト致シテ、債金ヲ我國ニ取ルト云フコトモ、此調査ノ頃ニ評議ノ段々アツタコトデアリマシテ、固ヨリ此會ニ於テ債金ノ入ルヤ否ヤト云フコトガ分ラズ致シテ、斯ウ云フ論結ヲ致シタノデアリマセ、縱シ債金ガ手ニ這入ツタ所ガ、此金兌換制ト云フモノヲ置イタル時分ニハ、即チ金貨ヲ本位ニスレバ、金ヲ以テ兌換ノシナケレバナラヌ、斯ノ如クナツタ時分ニハ、我國ノ經濟又貿易ノ權衡上ニ於テ、昨年ノ如ク大ニ輸入ノ超過スル如キコトガアルナラバ、即チ其差金ダケハ此金貨ニ於テ取附ヲサレレ譯デアアルカラ、其準備ノ基礎ト云フモノ、甚ダ危キモノデアアルカラシテ、貿易ノ權衡ニ於テモ、大ニ之ヲ熟考シナケレバナラヌ、又今日世界ノ大勢ニ於テモ、色々此單模本位ニ就イテ議論ノアルコトデアアルカラシテ、先ヅ今日ノ所ハ時機ヲ顧ミ準備ニ止ムルガ宜シイト云フコトデアリマシテ、調査會ニ於テモ斯ノ如ク鄭重ナル審查ヲ遂ゲマシタル上ニ於テ、其多數ノ意見ハ金本位ヲ實施スルニ於キマシテモ、其準備ニ止ムベシト云フノ議論デアリマシテ、此事ハ國家ノ財政社會ノ經濟ニ關スル所ノ最モ重大ナル問題デアリマセ、成程此調査委員ニ於キマシテモ、是等ノ事ハ審議討論ヲ致シタデアリマシタケレドモ、國民一般ニ於キマシテハ、是等ノ議論ハ如何デアアルカ、其利害得失ハ如何ト云フコトニ於テハ、豫備熟考ノ時間ト云フモノヲ未ダ與ヘテ居ラヌコトデアリマセ、然ルニ斯ノ如キ大問題ヲ咄嗟ノ間ニ提出ヲ致シテ、之ヲ決議ヲサセントスルニ於テハ、代議政體ノ本趣ニ

(栗原亮一君演壇ニ登ル)

恃り、又はハ非立憲的ノ舉動ト言ハナケレバナラヌ、吾々ハ本法ヲ急施スルノ必要ト云フモノハ社會經濟上ニ於キマシテハ如何デアアルカ、大イニ疑ガ存スルノデアリマス(意見見デスカ、質問デスカ)ト呼フ者アリ)然ラバ、政府ノ趣意ハ國家財政上ノタメニ之ヲ必要トセラル、ノデアリマセウカ、聞ク所ニ據レバ、政府ハ一時財政上ノ急ヲ救ハシタメニ、公債ヲ倫敦市場ニ賣出サンコトヲ試ミタレドモ、我國ハ實際銀貨國デアアルガ故ニ、其結果ガ宜シクナイニ依ッテ、此金本位ヲ採用シタナラバ、或ハ此結果ガ宜シカラウト云フ所カラシテ、此議ガ内閣中ニモ起ツタヤウニ聞イテ居リマス、果シテ斯ノ如クデアリマセウカ、若シ斯ノ如クデアリマスナラバ、特別ニ此金貨公債ト云フモノヲ犧牲ニ供スルガ如キコトガアリマシテハ、甚ダ不都合ナル次第デアリマス、政府ハ果シテ斯ノ如キノ必要ガアリマシテハ、本法ヲ急ニ行ハントスルモノデアリマセウカ、若シ果シテ斯ノ如キ必要ガアツテ行ハル、モノデゴザリマスナラバ、甚ダ危険デアアル、決シテ其他ニ必要ガアルコトヲ見ナイヤウデアリマス、想フニ本案ヲ提出シタ趣意ト云フモノハ、財政上ノ必要ニアルコトノヤウニモ思フデアリマス、此ニ疑ヲ存スル譯デアリマスガ、若シ果シテ財政上ノ必要ニメデアリマシテ、即チ此政府ノ財政計畫ニ於キマシテモ、臺灣ノ經費ハ歲入一千万圓以上ト云フモノハ、數年間毎年不足ヲ生ズルト云フコトニナツテ居リマス、是ハ從來聞ク所ニ於テモ、當局者モ大イニ困難ヲ感ゼラレルト云フコトデアリマス、果シテ財政上ノコトデナイト云ヒマスナラバ、是等ノ財源ハ何處ニ求メマスルノデアリマセウカ、即チ此貨幣制度ノ改革ト云フモノハ、是等財源ノ不足ヲ補シタメニ、遂ニ其策窮シテ他ニ求ムル所ガナイガ故ニ、此制度ノ改革ヲ目論シタノデアアルマイカ、即チ此毎年一千万圓ノ歲入不足ニ於キマシテハ、吾々モ疾クニ疑問ヲ起シマシテ、豫算委員ノ諸君ニ於キマシテモ、即チ此前ノ會議ニ於キマシテ、段々大藏大臣ニ質問ノ結果、此歲入不足ハ何ヲ以テ財源ニ充テラレルカト云フコトヲ質問ニ及バレタ所ガ、唯大藏大臣ハ自ら抱負アリト言ハレタルノミデ、他ニ是等辯明ガナカッタデアリマスガ、政府ハ此財政上ノコトニハ關係ナイト云フヤウナコトニモ聞キマシタガ、併ナガラ、此幣制改革ト云フモノハ財政ニ關係ナシトスルナラバ、此歲入不足ハ何ヨリ補ハル、ノデアリマスカ、此大藏大臣ノ抱負ナルモノハ、夙ニ聞カントスル所デアリマシタガ、即チ此抱負ナルモノハ、此幣制改革ノコトデアアルマイカ、然ラバ此事ハ財政上ニ關係ナイト云フコトヲ言ハレテモ、其實實財政上ノ困難ヨリ致シテ、毎年一千万圓以上ノ歲入ヲ別途ニ求メントスルガタメニ、斯ノ如キ所ノ方法ニ依ッテ得ルヨリハ、他ニ途ナキモノデアラウト思ヒマス、若シ此幣制改革ト云フモノハ、財政上ニ必要ナイモノデアルト云フナラバ所謂抱負ナルモノハ例レニアアルデアアルカ、即チ是ニ若シモ關係ナイトスルナラバ、決シテ抱負アリトハ言ハレヌ、一モ抱負ナイモノデアルト思フノデアリマス、本法ヲ急ニ行ハントスルノ必要ガ何レニアアルカ、吾々ハ甚ダ疑ヲ存スル譯デアリマスカラシテ、第一點ハ之ガ説明ヲ求ムルノデアリマス、ソレカラ今御演說ニナリマシタニ於キマシテ、此一圓銀貨處分ノコト、又其比價等ノコトニモ御演說ガアリマシタガ、是ニ就キマシテモ疑問ヲ懷クノデアリマス、此銀貨ノ處分ト云フモノハ、成ルベク早く之ヲ疑問ヲ懷クノデアリマシタガ、併ナガラ此本案ニ於キマシテハ、金貨本位制ヲ取ルト云フコトデアリマ

スル、然ルニ此銀貨ノ處分ニ致シテ、之ヲ急ニ行フコトガナカッタ時分ニハ、金單本位ハ名ノミニナリマシテ、其實ハ金銀兩本位ト暫クナルノデアリマス、若シ斯ノ如クデアリマスナラバ、此金銀兩本位ニ伴フ所ノ弊害ト云フモノハ、甚ダ恐ルベキデアリマス、即チ金一ニ對シテ銀三十二ト云フコトニ法定價格ヲ極メマシテモ、若シモ金貨ガ法定價格ヨリ日本ニ於テ今後比價變動ノタメニ、價低ク積ラレテ居ルト云フコトニナツタ時分ニハ、忽チ此金貨ハ去ッテ海外ニ往クト云フコトハ、惡貨ハ良貨ヲ馳逐スル譯デアリマス、經濟上ノ定則ト致シテ、免レヌ譯デアリマス、果シテ此政府案ノ如クデアリマシタル時分ニハ、其名ハ金本位ト稱シテアリマス、其實ハ暫ク模本位ヲ存スル譯デアリマス、斯ノ如クナツタル時分ニハ、實ニ其危險ヤ甚ダ恐ルベキモノデアリマス、一圓銀貨ノ處分ニ就イテハ政府ハ成ルベク之ヲ急ニヤルト云フノ御話デアリマシタケレドモ

○議長(鳩山和夫君) モウ少シ聽キマセウ
 ○栗原亮一君(二百八十八番) 併ナガラ其銀貨ノ處分ニ就イテハ、果シテ政府ハ何時ニ之ヲ實行セラル、デアリマセウカ、彼ノ明治十八年六月第十四號布告ニ於キマシテ、政府ガ發行紙幣ノ交換スルニ方ツテ、十九年一月ヨリハ漸次銀貨ニ交換スルト云フコトヲ約束セラレマシタ、併ナガラ未ダ今日マデ此銀貨ノ交換ト云フモノガ完全シナイ譯デアリマス、成ルベク早くト云フヤウナコトデハ、誠ニ此案ニ就キマシテモ不安心ヲ極ムル譯デアリマスカラシテ、政府ノ意思ハ成ルベクト云フ上ニ於テ、凡ソ何年何月ヲ期シテ此事ヲ實行スルノ趣意デアアルカ、是等ノ事ヲ確メズンバ、甚ダ危険極マル譯デアリマス、即チ此二點ニ就キマシテ御説明ヲ求ムル譯デアリマス

(大藏大臣伯爵松方正義君演壇ニ登ル)
 ○大藏大臣(伯爵松方正義君) 栗原サンニマア一應御尋シマスガ、今ノ御質問ハ何ノタメニ急ニスルカト云フ御質問デスカ
 ○栗原亮一君(二百八十八番) 左様デスカ、ソレカラ銀貨ノ處分ハ成ルベク早くト云フコトデアリマスカレドモ、是ハ凡ソ何年何月ヲ期シテヤルト云フ御成案ガアラバ、ソレガ聽キタイ
 ○大藏大臣(伯爵松方正義君) 其二點デスカ
 ○栗原亮一君(二百八十八番) ハイ
 ○大藏大臣(伯爵松方正義君) 全體今日ノ我國ノ通貨ノ有様ト云フモノハ、諸君ハ如何御考ヘナサイマスルカ、實ニ銀貨本位トナツテ、居ルヤウナ有様デ、始終浮沈定リナイ、爲替ノ動搖モ定リナク、從ツテドレ程ノ財產、或ハドレ程ノ力アルカト云フコトモ分ラヌ位ニ浮沈動搖シテ居ル有様デアリマセヌカ、此時ニ當リマシテ、何ゾ殊更ニ急ニト云フ譯デアリマセヌガ、サウ云フ次第ニナツテデアリマスカラ、斯ウ云フ好機會ヲ得タコトハナイカ、願クハ此際ニ結構ニナリタイモノデアアル、尤モ本官ハ先年ヨリ財政ノ事ニ與ツタモノデアリマスガ、紙幣ノ交換ノ始マル時十九年ノ時カ、日本ノ貨幣制度ハ此節紙幣ノ交換ガ始マシタガ、是デ安心スベキコトデアアルマイ、マ一ツ進シテ浮沈動搖ノ甚シイ貨幣デアナイ、先ヅ世界ニ通シテ動キノ少ナイ、金本位ノ制ヲ施カズンバ、日本帝國ノ財政ハ誠ニ不安デアルト云フコトデ、私ハ公衆ニ向テ此說ヲ明言致シタコトモアル、私ハ今日遽ニ此金貨本位ナドヲ、本官ガ唯一時ノ財政ノ都合ナドハ、決シテ致シタコトシヤナイ、最前申マシタ

○議長(鳩山和夫君) モウ少シ聽キマセウ
 ○栗原亮一君(二百八十八番) 併ナガラ其銀貨ノ處分ニ就イテハ、果シテ政府ハ何時ニ之ヲ實行セラル、デアリマセウカ、彼ノ明治十八年六月第十四號布告ニ於キマシテ、政府ガ發行紙幣ノ交換スルニ方ツテ、十九年一月ヨリハ漸次銀貨ニ交換スルト云フコトヲ約束セラレマシタ、併ナガラ未ダ今日マデ此銀貨ノ交換ト云フモノガ完全シナイ譯デアリマス、成ルベク早くト云フヤウナコトデハ、誠ニ此案ニ就キマシテモ不安心ヲ極ムル譯デアリマスカラシテ、政府ノ意思ハ成ルベクト云フ上ニ於テ、凡ソ何年何月ヲ期シテ此事ヲ實行スルノ趣意デアアルカ、是等ノ事ヲ確メズンバ、甚ダ危険極マル譯デアリマス、即チ此二點ニ就キマシテ御説明ヲ求ムル譯デアリマス

(大藏大臣伯爵松方正義君演壇ニ登ル)
 ○大藏大臣(伯爵松方正義君) 栗原サンニマア一應御尋シマスガ、今ノ御質問ハ何ノタメニ急ニスルカト云フ御質問デスカ
 ○栗原亮一君(二百八十八番) 左様デスカ、ソレカラ銀貨ノ處分ハ成ルベク早くト云フコトデアリマスカレドモ、是ハ凡ソ何年何月ヲ期シテヤルト云フ御成案ガアラバ、ソレガ聽キタイ
 ○大藏大臣(伯爵松方正義君) 其二點デスカ
 ○栗原亮一君(二百八十八番) ハイ
 ○大藏大臣(伯爵松方正義君) 全體今日ノ我國ノ通貨ノ有様ト云フモノハ、諸君ハ如何御考ヘナサイマスルカ、實ニ銀貨本位トナツテ、居ルヤウナ有様デ、始終浮沈定リナイ、爲替ノ動搖モ定リナク、從ツテドレ程ノ財產、或ハドレ程ノ力アルカト云フコトモ分ラヌ位ニ浮沈動搖シテ居ル有様デアリマセヌカ、此時ニ當リマシテ、何ゾ殊更ニ急ニト云フ譯デアリマセヌガ、サウ云フ次第ニナツテデアリマスカラ、斯ウ云フ好機會ヲ得タコトハナイカ、願クハ此際ニ結構ニナリタイモノデアアル、尤モ本官ハ先年ヨリ財政ノ事ニ與ツタモノデアリマスガ、紙幣ノ交換ノ始マル時十九年ノ時カ、日本ノ貨幣制度ハ此節紙幣ノ交換ガ始マシタガ、是デ安心スベキコトデアアルマイ、マ一ツ進シテ浮沈動搖ノ甚シイ貨幣デアナイ、先ヅ世界ニ通シテ動キノ少ナイ、金本位ノ制ヲ施カズンバ、日本帝國ノ財政ハ誠ニ不安デアルト云フコトデ、私ハ公衆ニ向テ此說ヲ明言致シタコトモアル、私ハ今日遽ニ此金貨本位ナドヲ、本官ガ唯一時ノ財政ノ都合ナドハ、決シテ致シタコトシヤナイ、最前申マシタ

ヤウニ、是ハ國家經濟上ノ大問題デア、決シテ一時財政ノ都合ナド彼是スルモノデナイト云フコトハ、私ハ明言シテ置イタ、唯輕キニ斯様ナコトヲ致シタヤウニ栗原君ハ御考ガアルカモ知ラナイガ、我輩ハ多年赤心ヲ凝ラシテ、此事ハ考ヘテ居リマス、幸ニ今日時機ヲ得タイト云フモノハ、何ノタメデア、此ハ戰爭ノ結果或ハ幸ニ支那ヨリ斯ウ云フ償金ヲ取ツタ此點ニ於テハ誠ニ御禮ヲ言ハニヤナラヌト私ハ豫テ思ヒマス、此金ノ結果トシテ、政府ノ財政上カラハ、最早其金ハ使ヒ出シタ、アナタノ先刻仰ツシヤッタ、臺灣ノ經費ハドウスルカト仰ツシヤル問題トハ、問題ガ違ツテ居ル、此金ハ最早政府ハ支出致シタ金デア、ソレハ日本銀行ニ出テ、日本銀行ノ所有ニナツタ金デア、ソレト云フコトヲ私ハ明ニ明言シマス、ソレガ御分リナカッタカ、私ノ辯ガ納辯デア、御分リナカッタモ御尤デア、ソレハ私ガ念ヲ入レテ申上ゲテ置イタ、諸君ノ御承知ノ通、海陸ノ計畫ニ就イテモ、最早此償金ガ充テ、アルト云フコトハ、滿場ノ諸君ガ皆御承知デア、是ニハ決シテ關係ノナイ金筋デア、ソレハ能ク御承知ヲ願ヒタイ、ソレカラ早クセンケレバナラヌト云フコトハ、今日ハ準備金ガ既ニ日本銀行ノ此銀貨國デアリナガラ、幸ニシテ戰爭ノ結果金ガ貯蓄ガ出来タ時デア、若シ此機會ヲ其儘ニシテ置キマシタラバ、日本ノ制度ハ銀貨本位デア、此金ヲ銀ニ變ゼネバ、日本銀行ノ營業ガ出来マイト思ヒマス、一度此金ヲ注ギ入レテ、又日本銀行デ銀ニ換ヘテヤッタ後、金ヲ得ヤウト仰ツシヤッタ所ガ、私ハ出来マイト思フ、ドウ云フ才智ヲ以テ御働ガ出来ルカ知ラヌガ、私ハ今日此機會ヲ失ツテ、又其機會ヲ生ズルト云フコトハ、何レノ御目的ガアルカ、又幸ニシテ此銀ノ相場ガ丁度餘リ近來ハ動キガ少ナイカラ、此時ニ依ツテ斯ウ云フ改革ヲ致スニハ、誠ニ便利デハナイカ、此兩様ヲ以テ説キ至レリ盡セリト私ハ思ヒマス、ソレカラ、一段ノ斯ノ如クナサヌ以上ハ、銀ノ何時マデニ引上

ゲルカ、之ヲ悠々トシテ置イテハ、實ニ兩本位ノ姿ニナツテ弊害ガ生ズルデアラウ、ソレデ早ク是ハ斯ク定メタガ長クハナイカト、斯ウ云フ御質問デア、此御質問ハ至極御尤デア、如何ニモ感服致シマス、私モ其事ハサウ考ヘル、併ナガラ此全國ノ仕事ヲスルニ、サウ來ル幾日マデト云フコトヲ期スルコトハ、ナカク、難イコトデゴザリマス、又栗原君ガ四千万ノ人ノ用意モマダ調バ中ニナドト仰ツシヤイマスケレドモ、ナカク、貨幣制度ノ事ナドニ關シ、サウ四千万ノ人ニ損害ヲ與ヘルト云フコトナラバ、イザ知ラズ、自分ハ利益ヲ與ヘルト思フデゴザイマス、英國ガ印度ノ幣制改革ヲ發シマシタトキニハ、ドウデゴザイマス、議院ニ出テ來テ一言發シタトキニハ、議員モ驚イタ、其位ニ政府ハ秘密ニシテ、大事ニシテ、此事ヲ即決シタコトモゴザイマス、ソレデ願クハ此問題ハ速ニ御決議ヲ願ヒタイ、斯ウ云フ風ニ私ハ希望ヲ述ベテ置キマシタ、丁度栗原君ガ第二ノ御質問ハ、至極御同感デゴザイマス、其事ハ私が責任ヲ持ツテ居マスガ、其事ニ就イテハ、決シテ其處ニ至ラヌヤウニシテ御覽ニ入レマス、果シテ贊成ヲ得マシタラバ、行政權ヲ生ゼヌヤウニハ、勤勉シテ相務ムル考、此御疑ハ至極御同意デゴザイマス、是デ御分リニナリマシタラウ

○議長(鳩山和夫君) 小畑岩次郎君 本法施行ノ時機ニ就キマシテハ、詰リ意見ノ分ル、所デゴザイマスカラ、討論ハ其時ニ譲リマス

○議長(鳩山和夫君) 小畑岩次郎君ニ許シテアリマス、栗原君ニハ許シテアリマセヌ

○大藏大臣(伯爵松方正義君) 先刻ハ御質問シヤト云フコトデア、御質問ニ答ヘマシタノデゴザイマス

○小畑岩次郎君(百二十八番) 總理大臣ニ質問致シマス、此問題ハ總理大臣モ縷々述ベラレマスル如ク、國家經濟ノ上ニ於キマシテハ、實ニ重要ナル問題デゴザイマス、總理大臣モ述ベラレマシタ如ク、唯是ハ咄嗟ノ考デ出シタモノデナイ、十分ニ調査ヲ遂ゲテ、今日時機ト見テ出シタト云フコトデゴザイマスガ、此法案ガ通過致シマシタナラバ、我國ノ經濟ハ如何ナルコトニ立至リマセウカ、或ハ海外ニ對シテハ、所ノ貿易上ニ於テハ、如何ナル利害ガ及ビマセウカ、我國ノ商工ニ對シテハ、實ニ容易ナラヌ關係ヲ持ツテ來ル問題デアラウト思ヒマス、故ニ政府ガ此案ヲ提出セラレマスルニ於テモ、十分ニ調査ハ遂ゲテゴザイマセウト思ヒマスガ、尙ホ調査ノ手續上ニ於テ質問ヲ致シタウゴザイマス、ソレハ即チ此商工ニ關係スルト云フコトノ最モ重イ案デゴザイマスルガ、我國ニ於キマシテハ、一ノ法律ニ就キマシテ、商工ニ關係スル、所謂經濟ニ關係スル問題ニ就イテハ、行政官ハ商工業會議所ニ對シテ諮問ヲスルコトヲ得ルト云フ途モ、今日現在ノ法律デゴザイマス

○議長(鳩山和夫君) 小畑岩次郎君ニチヨット注意致シマスガ、今日ノ大藏大臣ノ演說ニ就イテ、說明ヲ求メラル、ナラバ宜シイガ、調査ノ手續ト云フコトハ、サウ云フコトハ今日ノ演說ニナイ

○小畑岩次郎君(百二十八番) サウデナイ、總理大臣ノ演說ニ就イテ說明ヲ求メマス(簡單ト呼フ者アリ)簡單ニ致シマス、各地方ニ商工業會議所ト云フモノガアリ、農商務省ニ於テハ高等會議ト云フモノガゴザイマスルニ、此經濟ニ直接ノ關係ヲスル所ノ本案ヲ、政府ハソレノ諮問ヲシテ、地方ノ商工業會議所ノ意見ガ如何デア、或ハ又農商務省ニ於テ開ク所ノ、高等會議ノ意向ハ如何デア、此内閣ノミナラズ、我日本一般ノ商工社會ハ、如何ナル希望デア、又各地方ノ商工業會議所カラ建議デモアッタコトデア、如何ナル邊ヲ一應提出者ニ對シテ聽キタウゴザイマス、又總理大臣ガ之ヲ提出スルニ對シテ、商工業會議所ノ如キハ眼中ニ置カヌ、強ヒテ質問スル必要ガナイト莫視シテアルカ、又ハ此案ヲ提出スルハ、誠ニ咄嗟デ、至急ニ出スコトニナツタカラ、問フ暇ガナカッタカラ、問ハズニ出シタト云フカ、一應聽イテ置キタウゴザイマス

○田口卯吉君(百九十五番) 御序ニ、私モ一ツ質問シタウゴザイマス、甚ダ簡單ナルコトデゴザイマスガ、其處ヘ往ツテヤリマス

○議長(鳩山和夫君) 其處デ宜シウゴザイマス

(田口卯吉君演壇ニ登ル)
(笑聲起ル)
○田口卯吉君(百九十五番) 諸君、本員モ大藏大臣ヲ煩シテ、一言ノ御答辯ヲ得タイト思ヒマス、本員ハ此度ノ大藏大臣ノ發セラレマシタ案ニ就キマシテハ、反對ノ意見ヲ持ツテ居ルモノデア、併シナガラ其反對ノ意見ハ、今日ハ述ベル必要ヲ見マセヌ、他日委員會結了ノ後ニ述ベル考デゴザイマス、唯竊ニ憂ヘマスノハ、本院ノ形勢ヲ以テ致シマスレバ、本案ハ或ハ可決セラ

ル、デアラウカト思ヒマス、然ル時ニハ、此政府ノ意思ガ明カニナラテ居
 リマセト、國家ノ上ニ重大ノ關係ノ起ルコトガアラウト思ヒマス、其事ハ何
 デアル、我邦ノ此公債證書ハ外國ニ賣レルコトゴザイマス、我邦ガ金貨本
 位ニナリマスルトキニハ、此五朱ノ利ノ附イテ居ル公債ハ、海外へ必ズ多ク
 出ルデアラウト思フ、私共ガ此財政、今日ノ日本ノ財政ヲ整理致シマスニ
 就キマシテ、望ヲ屬スル所ハ、他日低利ナル、安イ利息ノ公債ヲ募ツテ、今日ノ
 如ク高イ利息ノ公債ヲ償却シタイト云フ點ニゴザイマスルガ、今不幸ニモ我
 邦ガ金貨本位ニナリマシテ、此公債ガ海外ニ流レテ出テ、外國ノ資本主ガ此
 公債ヲ持チマストキニ當ツテハ、此公債證書ヲ低利ノ公債證書ニ償還シテ、
 借換ヘルト云フコトハ、大イナル困難ノコト、或ハ外交問題ニモ移リハシナ
 イカト思ヒマス、例ヘバ試ニ今日ノ倫敦アメリノ公債ノ相場ト比較シマスレ
 バ、苟モ五朱ノ利ノ附イテ居リマスル公債ナレバ、必ズ百三四十圓ノ相場ヲ
 爲スニ違ヒナイ、倫敦ノ債主ガ百三四十圓ノ相場ヲ以テ、買込シテ居リマス
 ル公債ヲ、俄ニ我政府ノ都合ダカラト云ツテ、百圓デ直チニ借換ヘルト云フ
 ヤウナコトヲ致シマシタナラバ、縦令法律上カラ論ジマシタナラバ、我政府
 ノツレハ權デアアルト言ハル、カ知ラヌガ、實際債主ハ故障ヲ述ベテ、故障ヲ
 言立テラデアラウト思ヒマス、サウ致シテ見マス、他日財政整理ノ上ニ大
 イナル困難デアアル、他日我日本ノ財政ノ局ニ當ツタ人ヲ束縛スルコトガ、茲
 ニ此舉動ヲ起ルノデゴザイマス、サレバ今私ガ松方内閣ハ、他日財政ヲ就
 テノ意志ヲ表白シテ貫ヒタイ、ト申スモノハ、我松方内閣ハ、他日財政ヲ整
 理スルトキニ當ツテハ、此五朱ノ利ノ附イテアル公債ハ、隨意ニ低利ノ公債
 ト償還スルコトガアルゾ、此意思ガ今日ニ於テ公然發表セラレテ居リマスレ
 バ、他ニ外國ノ債主ガ此公債ヲ買フニ當ツテモ此意思ヲ奉シテ、而シテ買入
 レタ公債デゴザイマスカラ、隨意ニ處分ヲセラル、ニ於テ、決シテ差支ナイ
 ト思フ、漫然今日ノ儘ニシテ置カレテ、外國ノ債主ガ之ヲ買入レタ後ニハ、
 他日隨分苦情ノ種ニナルデアラウト竊ニ憂ヘマス、此事ハ必シモ今日此
 席ニ於テ御答辯ヲ要スル譯デアラウゴザイマス、十分御熟考ノ上御答辯アツテ
 宜シコトデゴザイマスガ、此點ヲ質問致シテ置キマス

(政府委員大藏次官法學博士吉富田尻稻次郎君演壇ニ登ル)
 ○政府委員(男爵田尻稻次郎君) 田口君ノ御懸念ハ、外國人ガ公債ヲ澤山持
 ツデアラウ、サウスレバ借換ガ出来ヌト云フヤウナ御話デゴザイマスガ、是ハ
 熟考モ何ニモ要ラヌ、直ク御答ガ出来マス、抑、公債ニハ据置年限ト云フモ
 ノゴゴザイマシテ御承知ノ通、据置年限ハ即チ保護年限、其保護年限ガ過
 ギマスレバ、其公債ヲ發行シマシタ政府ハイツ何時デモ之ヲ償還スル權利ハ
 アルデ、据置年限ガ済ミマスレバ、少シモ償還ニハ差支ガアリマセヌカラ、唯
 今ノ御懸念ハ少シモナイデアリマスカラ、ドウカ其御懸念ハ御取罷ミニナ
 テ宜カラウト思ヒマス

○議長(鳩山和夫君) 本日ノ日程ニ入りマス
 ○小畑岩次郎君(百二十八番) 本員ノ質問ノ答辯ヲ總理大臣ノ答辯
 ○議長(鳩山和夫君) 本日ノ日程ニ入りマス
 ○小畑岩次郎君(百二十八番) 議長
 ○議長(鳩山和夫君) 小畑岩次郎君ハ何ヲ言フノデスカ
 ○小畑岩次郎君(百二十八番) 本員ガ質問シマシタニ、答辯ガゴザイマセヌ
 ガ

○議長(鳩山和夫君) ツレハ、書面ヲ以テ御出シニナルカ、然ラサレバ私ノ
 聽イタ所デアハ、アナタハ調査ノ手續ニ就イテ説明ヲ求メラレタヤウデ、ツレ
 ハ議長ハ許サヌ積デアアル、政府モツレニ就イテ答ヘヌカ知レマセヌ、兎ニ角
 今日ノ日程第一ニ入りマス
 ○山田泰藏君(四十四番) 議長ハ、政府ノ辯護ヲスルノカ、政府ガ何トモ言
 ハヌノニ、議長ガ餘計ナコトヲ云フニハ及バヌト思フノデアアル
 (小畑岩次郎君商工會議所ヲ無視シタト呼ブ)

第一 作業會計法中改正法律案(政府 第一讀會ノ續(特別委員)
 提出)
 ○吉富簡一君(百六番) 日程第一ノコトヲ御議シニナリマスレバ、委員會ノ
 經過ヲ報道致シマス
 ○議長(鳩山和夫君) 宜シウゴザイマス
 (吉富簡一君演壇ニ登ル)
 ○吉富簡一君(百六番) 諸君、此第一ノ作業會計法中改正法律案ノ委員會ノ
 經過ト、結果ノコトヲ御報道致シマス、此案ハ、二月二十七日ニ委員會ヲ取
 設ケマシテ、不肖私ガ委員長ノ當選ニ當リマシタ、理事ニハ今西幹一郎君ガ
 理事トナラレマシタ、其後三月二日ニ於キマシテ、政府ノ委員ニ質問ヲ
 致シマシテ、遂ニ同日ニ於キマシテ決議致シマシタデアリマスガ、其政府ノ
 委員ニ問ヒマシタルコトヲ、本會ノ御參考マデニ、大略述ベテ置キマセウ
 考ヘマスガ、ツレハ本案ハ此會計ノ上ニ於キマシテ、間接ト直接ト關係ガア
 ルコトデアリマスルガ、之ヲ委員會ガ政府委員ニ質疑致シマシタ所デアリマ
 スト、此間接直接ノ仕拂ノコトハ、ドウ云フ手續デアアルカト云フコトヲ問ヒ
 マシタノデアリマス、此作業會計法中、電信燈臺局、大阪ノ造船局、
 印刷局、此三局ノ中ニ就キマシテ、直接間接ニ費用ノコトヲ取分ケテ見マス
 ルト、間接ノ方ト申シマスノガ、或ハ局長ノ俸給及之ニ屬スル諸品ノヤウナ
 モノガ、一般會計ノ方カラ出テ居リマシテ、又作業ニ關シマス所ノモノガ直
 接トシマシテ、即チ此作業ノ收入額ヨリ仕拂ガナツテ居ルコトデアリマス、
 故ニ此法律案 本案ノ提出ノ趣旨ハ、是ヨリハ直接間接ノコトヲ止メマシ
 テ、作業費ノ中ヨリ支辨ヲシタイト云フノ精神ノ本案デアリマス、委員會ニ
 於キマシテハ、是マデノ明治二十三年ノ法律案ヨリハ、今般政府提出ノ趣旨
 ガ、混雜ガナクテ宜シイト認メマシテ、即チ政府案ヲ贊成シマシタノデゴ
 ザイマス、之ヲ委員會ガ質疑シマシタル所ヲ、御審議ノ御參考マデニ、間
 接直接ノ關係ダケノ大略ヲ述ベテ置キマスルコトデアリマス

○小西甚之助君(二百九十二番) チョット政府委員ニ一言承ツテ置キタイコ
 トハ、本案改正ノ目的ニ就イテノコトデアリマス、本案改正ノ目的ハ、此理
 由書ヲ一讀致シマスレバ、誠ニ明瞭ナルガ如クシテ、而シテ却テ明瞭ヲ缺ク
 所ガアル、ツレハ他ノコトデゴザイマセヌガ、本案ヲ改正スルノ理由ハ、即
 チ現行ノ作業會計ハ、作業ニ直接ナル費用デナケレバ、支辨スルコトガ出来
 ナイノデアアルガ、ツレハ不便デアアルガ故ニ、間接ナルモノモ、亦此作業ノ
 費用トシ支辨スルコトヲ得ルコトニシヤウト云フノデアアルガ、シテ見マスレ
 バ、全ク此改正ノ目的ト云フモノハ、其支辨スベキ範圍ヲ擴ムルニアルコト
 デアラウト思ハレルノデアアル、何トナレバ、今マデハ直接バカリノ費用デア

ツタガ間接ノモノヲモ尙ホ作業費トシテ支辨スルコトニシヤウト云フノデア
ルガ故ニ、即チ此支辨ノ範圍ヲ擴ムルニアリト云フコトハ、一目瞭然カ
ノ如クテ、瞭然ニ似テ甚ダ瞭然ナカラザルモノガアル、此理由書ヲ讀メバ全ク
「作業會計ノ範圍ヲ明瞭ナラシメントス」ト云フコトニ書イテアル、是マデ範
圍ガ不明瞭デアツタガ故ニ、之ヲ明瞭ニシヤウト云フコトニナル、サウスル
ト其目的ハ、其全ク支辨スベキ範圍ノ不明瞭ナルモノヲ明瞭ニセントメノヤ
ウニ聞エルガ、サリナガラ其理由書ヲ讀ンテ其精神ヲ察スルト一點モ不明
瞭ナラザルモノデアツテ、全ク區域ノ狭イモノヲ廣クスルトシカ解サレナ
イ、ドウモ「範圍ヲ明瞭ナラシメントス」ト云フ説明書ヲ讀ンテ甚ダ疑ガア
ル、ドウカ明瞭ト云フコトニ就イテ、明瞭ナル御答辯ヲ煩シタイノデアリマ
ス

○吉富簡一君(二百六番) 唯今ノ質疑ハ政府委員ニ御尋デアリマスカ、委員長
ヘノ御尋デアリマスカ

○議長(鳩山和夫君) 政府委員ヘノ尋デアリマスカ—— 阪谷芳郎君

○政府委員(阪谷芳郎君) 御答致シマス、唯今作業會計直接間接ト云フ費
用區分ガ立ツテ居リマス、造幣局長ト取扱ヒノ上ニ於キマシテ甚ダ混雜シ
ス、譬ヘテ申シテ居リマス、造幣局長ト云フモノ、費用、竝ニ造幣局長ニ附屬シ
テ居ル屬官ノ費用ハ、今日デハ之ヲ間接ノ費用トシテ居ル、ソレカラ造幣局
長ノ監督ノ下ニ居ル所ノ技師、技工等ノ俸給、其他ノ費用ト云フモノ
ハ、之ヲ作業直接ノ費用ト區別シテゴザリマス、是ハ文面ノ上カラ申シマ
スルト云フト、甚ダ簡單デゴザリマスケレドモ、實際ノ扱ヒニナリマス、例
ヘバソトウ云フ石炭ニ致シマシテモ、局長ノ部屋ノソトウ云フハ間接ノ費用デ
アル、次ノ間ノソトウ云フ石炭ハ直接ノ費用デアルト云フヤウニ相成リマシ
テ、實際殆ド區分ガ立難イノデアアル、併ナガラ今日ハ法文ノ上ニ間接直接ノ區
分ガゴザリマスカラ、其不便ニモ拘ラズ、豫算ノ編制カラ區別シテ組ンデゴ
ザリマスカラ、實際上不明瞭デアツテ、甚ダ混雜ヲ來タシマスカラ故ニ、
此度ノ改正ニ依リマシテ、造幣局長以下ノ費用ヲモ、畢竟致シマスカラニ作
部ノ長官ニ過ギヌノデアゴザリマスカラ、當然作業ノ費用ニ入レテ差支ナイト
政府デハ認メマシタガ故ニ、此間接ト云フ區分ヲ廢シマシテ、直接ノ方ノミ
ニ合併致シマシテ、即チ特別會計ノ方ノ豫算ニ編入致ス積デ、今日ノ所デ
ハ造幣局ノ費用ガ總豫算ト特別會計トニツニ分レテ、甚ダ其區分ガ明瞭ナラ
ヌト云フ旨意カラ、之ヲ唯今委員長カラ述ベラレタ通、作業ノ費用ハ合併シ
テシマフト云フ精神デゴザリマス

○小西甚之助君(二百九十三番) 唯今ノ御答辯ハ了解シ兼ネマスガ、實ハ唯
今ノ御答辯ノ旨意ト云フモノハ、是ハ直接ノ費用デアアルカ、是ガ間接ノ費用デ
アルカト云フコトノ、此區別ヲ爲スコトガ甚ダムツカシイ故ニ、其ムツカシイ
所ノ不便ヲ避ケンガためニ、斯ノ如ク改ムルト云フ御旨意ト了解致シテ宜シ
ウゴザリマスカ

○政府委員(阪谷芳郎君) 左様デゴザリマス
○小西甚之助君(二百九十三番) ソレデハドウモ御答辯ヲ了解スコトガ出
來ナイ、ソレハ全ク事實上ノ問題デアツテ、即チ是ハ直接ニ屬スルモノデア
ルヤ否ヤト云フ、其區別ガムツカシイト云フコトデアアル、此作業會

計ノ範圍ヲ明瞭ナラシメントスルコトハ、決シテ此事實ノ事デナイ、此支辨
ノ範圍ト云フモノニ就イテ明瞭ニシヤウト云フコトニ書イテアル、サウシテ
見ルト、此支辨ノ範圍ガ不明瞭デアアルカト云フコトニナルノデアアルガ、私ハ
一點モ此支辨ノ範圍ニ不明瞭ト云フコトヲ見出スコトハ出來ナイノデアアル、
故ニ御答辯セラレタコトハ、此理由書ニ書イテアルコトハ、ハ、スッパリ合ハナ
イコトデアアル、然レドモ私ハ決シテ之ニ拘泥スルコトハシナイ、今ノ御説明
ニ依ツテ其精神アル所ハ分リマシタカラ、贊成致シマス
○吉本榮吉君(二百五十六番) 既ニ小西君モ贊成セラレタ以上ハ、最早是ニ
就イテ分ラナイ人ハナイト思ヒマスカラ、讀會省略ヲシテ、直チニ決定ヲ望
ミマス

○贊成々々ト呼フ者アリ
○議長(鳩山和夫君) 吉本榮吉君ノ讀會省略ノ勸讀ガゴザリマス、是ニ御異
議ハゴザリマセヌカ
〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長(鳩山和夫君) 讀會ハ省略サレマシタ—— 他ニ御質問ガゴザリマセヌ
ケレバ採決シヤウト考ヘマス、本案ヲ以テ確定ト認ムルコトニ御異議ハゴザ
リマセヌカ
〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長(鳩山和夫君) 本案ハ確定致シマシタ、然ラバ日程第二以下十一マ
デ、通ジテ議題トナサウト思ヒマスカ、是ニ御異議ハゴザリマセヌカ
〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長(鳩山和夫君) 日程第二ヨリ第十一マデヲ議題ト致シマス

- 第二 貨幣法案(政府提出) 第一讀會
- 第三 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會
- 第四 貨幣整理資金特別會計法案(政府提出) 第一讀會
- 第五 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會
- 第六 明治十七年第十八號布告兌換銀行券條例中 第一讀會
- 第七 改正法律案(政府提出) 第一讀會
- 第八 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會
- 第九 明治十八年第十四號布告中改正法律案 第一讀會
- 第十 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會
- 第十一 明治十二年第三十五號布告廢止法律案 第一讀會

- 貨幣法案
- 第一條 貨幣ノ製造及發行ノ權ハ政府ニ屬ス
- 第二條 純金ノ量目二分ヲ以テ價格ノ單位ト爲シ之ヲ圓ト稱ス
- 第三條 貨幣ノ種類ハ左ノ九種トス
- 金貨幣 二十圓

〔左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノため茲ニ掲載ス〕

十圓 五圓 銀貨幣

五十錢 二十錢 十錢 白銅貨幣

五錢 青銅貨幣

一錢 五厘

第四條 貨幣ノ算則ハ總テ十進一位ノ法ヲ用井一圓以下ハ一圓ノ百分ノ一

第五條 貨幣ノ品位ハ左ノ如シ

一 金貨幣 純金九百分參和銅一百分

二 銀貨幣 純銀八百分參和銅二百分

三 白銅貨幣 ニッケルニ二百五十分參和銅七百五十分

四 青銅貨幣 銅九百五十分錫四十分亞鉛十分

第六條 貨幣ノ量目ハ左ノ如シ

一 二十圓金貨幣 四匁四分四厘四毛四(十六)グラム(六六六五)

二 十圓金貨幣 二匁二分二厘二毛二(八)グラム(三三三三)

三 五圓金貨幣 一匁一分一厘一毛一(四)グラム(一六六六)

四 五十錢銀貨幣 三匁五分九厘四毛二(三三)グラム(四七八三)

五 二十錢銀貨幣 一匁四分三厘七毛七(五)グラム(三九一四)

六 十錢銀貨幣 七分一厘八毛八(二)グラム(六九五五)

七 白銅貨幣 一匁二分四厘四毛一(四)グラム(六六五四)

八 一錢青銅貨幣 一匁九分零厘零毛八(七)グラム(二二八〇)

九 五厘青銅貨幣 九分五厘零毛四(三)グラム(五六一四〇)

第十條 金銀貨幣量目ノ公差ハ左ノ如シ

一 金貨幣二十圓ハ每片八毛六四(〇)グラム(〇三二四〇)一千枚每ニ八分

五七七五〇十圓金貨幣ニ匁二分一厘八(グラム)二八七五五圓金貨幣一

第十二條 金貨幣ニシテ磨損ノ爲メ通用最輕量目ヲ下ルモノ及銀貨幣白銅

第十三條 貨幣ニシテ模樣ノ認識シ難キモノ又ハ私ニ極印ヲ爲シ其ノ他故

第十四條 金地金ヲ輪納シ金貨幣ノ製造ヲ請フ者アルトキハ政府ハ其ノ要

第十五條 從來發行ノ金貨幣ハ此ノ法律ニ依リ發行スル金貨幣ノ倍位ニ通

第十六條 從來發行ノ一圓銀貨幣ハ金貨幣一圓ノ割合ヲ以テ政府ノ都合ニ

第十七條 從來發行ノ五錢銀貨幣及銅貨幣ハ從前ノ通り通用スヘシ

第十八條 此ノ法律發布以後ハ一圓銀貨幣ノ製造ヲ廢ス但シ右期日以前ニ

第十九條 此ノ法律ニ抵觸スル從前ノ法令ハ總テ之ヲ廢止ス

第二十條 此ノ法律ハ第十八條ヲ除ク外明治三十年十月一日ヨリ施行ス

貨幣整理資金特別會計法案

第一條 一圓銀貨幣及流通不便ノ貨幣引揚交換ノ爲メ貨幣整理資金ヲ置キ

第二條 明治三十年度以後造幣局特別會計作業益金ハ貨幣整理資金ニ充ツ

第三條 交換ノ上引揚タル一圓銀貨幣及流通不便ノ貨幣ヲ地金トシテ賣却

第四條 毎會計年度ニ於テ貨幣整理資金特別會計ノ決算上該資金額ニ過剩

第五條 政府ハ毎年貨幣整理資金特別會計ノ歲入歲出豫算ヲ調製シ帝國議

第六條 貨幣整理資金ノ收入支出ニ關スル規定ハ別ニ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

明治十七年第十八號布告兌換銀行券條例中改正法律案

明治十七年第十八號布告兌換銀行券條例中左ノ通り改正ス

第七條中「金銀貨」トアルヲ「金貨」ト改ム

此ノ法律ハ明治三十年十月一日ヨリ施行ス

明治十八年第十四號布告中改正法律案
明治十八年第十四號布告中「銀貨」トアルヲ「金貨」ト改ム

此ノ法律ハ明治三十年十月一日ヨリ施行ス
明治十二年第三十五號布告廢止法律案
明治十二年第三十五號布告ヲ廢止ス

○木村善太郎君(百九十一番) 政府委員ニ質問ヲ致シマス、貨幣改革ニ就キマレテ此準備トシテ現今アリマスル所ノ國庫ニ備ヘテアル所ノ金塊及銀塊、尙ホ倫敦英蘭銀行等ニアリマスル——預ケテアリマスル所ノ金貨、尙又本國ノ回漕中ノ途中ニアルモノ等ヲ併セテ、現今其準備ハドレダケアリマスカ、且又將來價金ニ就イテ請取ルベキ金貨ノ中ヨリ、將來軍備擴張等ニ仕拂フベキ金額ノ海外ニ輸出スベキモノヲ引去ツタ其殘額ハドレ程アルカ、其金額ヲ承リタイ

(政府委員大藏省主計局長松尾臣善君演壇ニ登ル)

○政府委員(松尾臣善君) 唯今御質問ノ(吉本榮吉君「ドウカ答辯ヲ簡單ニト呼フ」)英吉利テ受取マシタ金貨ノ總額ハ二億二百七十六萬餘圓デ、其中倫敦ニ於キマシテ二十九年度、三十一年度ニ仕拂ヒマスル金額トシテ倫敦ニ除ケ——即チ倫敦ニ保存シ置マスル金額ハ四千八百二十七萬餘圓デゴザリマス、ソレダケハ倫敦ニ保存シ置キマシテ、仕拂ノ期節ニ即チ支出致シマスル、差引殘リマシテ一億五千四百九十九萬餘圓、是ダケハ既ニ受取テ居リマス中カラ、本邦ヘ持歸リマスルノデゴザリマス、其中金塊テ取リマス見込ノモノガ二千二百六十二萬餘圓ゴザリマス、ソレカラ銀塊テ既ニ取寄セマシタモノガ、二千六百九十四萬餘圓、是ハ既ニコチラヘ著致シマシテゴザイマス、爲替テ取寄セマシ見込ノモノガ、五千四百九十二萬餘圓デ、是モモウ大分コチラヘ著致シテ居リマス、サウシマスル中ニ、金塊ノ分デゴザイマス、此中ハ四千萬圓バカリハ、倫敦ヲ積出シテ居リマス、其中コチラヘ著致シマシタモノガ、二千萬圓バカリ著致シテ居リマス、二千萬圓バカリハ途中ニゴザイマス、三千二百餘萬圓バカリハ、是カラ五月頃ニ追々取寄セマス積デアリマス、サウシマシテ、此金塊ト銀塊、之ヲ日本ノ貨幣ニ換算致シマスルト、九千九百五十七萬餘圓ニナリマス、是ハ追々著致シマスルニ從ツテ、既ニ日本銀行テ預合ヒヲ以テ借入レテ居リマス金額ニ對シテ返償致シマスルモノデアリマス、サウシマシテ日本銀行ノ準備金ノ方ヲ計算シマスルト、現今政府カラ預入テ居リマスルハ、一度政府ニ返シマスルコトニシマシテ、全ク日本銀行ノ所有ニ歸シマスルモノハ、金貨デ三千六百七十七萬餘圓、銀貨デ二千二百九萬餘圓、合計五千八百八十八萬餘圓ゴザイマス、是ニ政府ヨリ漸次償還シマスル金塊、銀塊ヲ日本ノ貨幣ニ換算致シマスルト、九千九百五十七萬餘圓、之ヲ加ヘマスルト、一億五千八百四十四萬餘圓ト爲リマス、是ガ即チ日本銀行ノ準備金ト爲リマスル高デアリマス

○吉富簡一君(百六番) 唯今ノ御答辯ノ中ニ就イテ、チヨット承リ置キタイコトハ、此貨幣問題ノ金一圓ヲ二トシマシタ金ノ高デ、一億五千ナントポト仰シタルノデスカ、下地ノ貨幣ノ量目ニ於テ、一億ナントポト云フ御考デアリマスカ

○政府委員(松尾臣善君) 矢張一圓ヲ二圓トシマシタ計算デアリマス、新金貨ニ換算シマシタモノデス

○吉富簡一君(百六番) サウスルト、今度ノ御提出案通ノ金本位ニナルベキモノトシタ所ノ高ガ、サウナルト云フ御答辯ト承知シテ宜シイカ

○政府委員(松尾臣善君) 左様デゴザイマス
○吉本榮吉君(二百五十一番) 先程内閣總理大臣ノ朗讀演說ガアツタガ、實ニ聽取リ苦シイシ、又聽誤リモアラウト思ヒマスカラ、明日議事速記録デ精ク聽ベマシテ、オンナ大キナモノモ回ツテ居リマスカラ、是モ調ベテ其上デ質問スルコトガアレバ、質問スルガ宜シイ、故ニ直チニ委員ノ選舉ノコトニ致シタイ、就イテハ此問題ハ大分重大ナ、第十議會ノ第一問題デアルト思ヒマスカラ、委員ハ二十七名トシテ、其選舉ハ議長ニ於テ指名アルヤウニシタイト思ヒマス

○議長(鳩山和夫君) 日程ノ第二、第四、第六、第八、第十ノ案ヲ同一ノ委員ニ付託スルト云フノデ
○吉本榮吉君(二百五十一番) 左様デゴザイマス
○議長(鳩山和夫君) 唯今私ガ言ツタダケノ案ヲ同一ノ委員ニ付託シタイ、其委員ハ二十七名トシテ議長ノ指名ニスルト云フ、吉本君ノ動議デアリマス
○河島醇君(二百八番) 委員ノ數ハ十八名
○議長(鳩山和夫君) 贊成ガアリマスカ——河島君ノ十八名ト云フ動議ニハ贊成ガアリマセヌ、是ヨリ採決致シマス、吉本君ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ

(贊成々々ノ聲起ル)

○議長(鳩山和夫君) 贊成ガアリマスカ——河島君ノ十八名ト云フ動議ニハ贊成ガアリマセヌ、是ヨリ採決致シマス、吉本君ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ

○議長(鳩山和夫君) 然ラバ吉本君ノ動議ニ決シマス——次ハ日程第十二ニ移リマス

(異議ナシノ聲起ル)

第十二 府縣制改正法律案(工藤行幹 第一讀會ノ續(特別委員) 君外七名提出)

○中島又五郎君(二十四番) 府縣制改正案ハ、郡制改正案ト關聯シテ居リマスカラ、成ルベク郡制改正案ヲ先キニシテ、而シテ後ニ縣制ニ移ルノガ便利ト思ヒマスカラ、今日ハ延會ニシマシテ、郡制ト同時ニ報告ヲシテ、同時ニヤルト云フコトノ動議ヲ提出シマス

○議長(鳩山和夫君) 府縣制改正案ノ委員長カラ、此案ハ郡制改正法律案ノ日程ニ上ボル時マデ、延期スルト云フ説ガ出マシタガ、御異議ハアリマセヌカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(鳩山和夫君) 然ラバ其通決定シマシタ、唯今可決シマシタ所ノ貨幣法案外四件ノ委員ノ氏名ヲ報道シマス

(田中書記官朗讀)

田口卯吉君、井上角五郎君、河島醇君、柏田盛文君、小坂善之助君、田中市兵衛君、元田肇君、中野武警君、阿部興人君、高田早苗君、武富時敏君、天竺伊左衛門君、濱口吉右衛門君、栗原亮一君、伊藤德太郎君、堀内賢郎君、重岡薫五郎君、高橋安爾君、中村克昌君、堤猷久君、和田彦次郎君、東尾平太郎君、松尾寛三君、藤田達芳君、島田孝之君、小松三省君、河原林義雄君、議長(鳩山和夫君) 日程ハ追テ書面ヲ以テ報告シマス、今日ハ散會
午後四時三十分散會